

09 運営

平等で、公正な会の運営に心砕いてきています。皆で知恵を出し合い、試行錯誤を重ねて独自の組織、行事を作り上げてきました。ボランティア趣味の会の運営の一端をご紹介します。一部にダブリがあります。

I 会の目的

当会は、2018年7月1日発足のボランティアの会、会員が美術を楽しむ美術趣味の会であり、美術普及の実現に寄与することを目的とする。(あーと・わの会 会則 第3条、P.153)

II 会の理念

シンボルマーク“わ”を理念とする。すなわち“わ”はコレクター&わたくし美術館と市民を結ぶ輪の“わ”、わたくし美術館の“わ”、平和の“わ”、和を以て貴しとなすの“わ”、角が無くて添い易い“わ”、和みたいの“わ”、ワイガヤの“わ”等の願いが込められています。“わ”による美術普及を通じ“一人でも多くの方の役に立ち、ワイガヤで楽しい会、100点を求めない会、一人は万人のため万人は一人のため、幸せを願う精神”を基盤にすえた活動を目指しています。

III 理事長の基本方針、目標

野原前理事長の基本方針は、**1** 営業はしない。**2** 会員数の増加を急がない。**3** 入会には会員の紹介、コレクターであることを条件にする。**4** 絵画の売買には会はタッチせず、会員による特定作家の支援は自由ですが会としては特定作家の支援には距離を置き、行わない。**5** 借金はしない。**6** 繰越金は抑え、経費はその年に極力使い切る。**7** 公私混同しない。**8** 権力には接近せず、特定思想、宗教には距離を置く。**9** 固定資産は持たない。

平園新理事長の基本方針・目標(2019年総会時に発言)：前理事長の基本方針は受け継ぎ、「ワイガヤの楽しい会、100点を求めぬ会」、「一人は万人のため万人は一人のため」が発表されています。

IV 総会

年1回行われる定例総会と臨時に行われる臨時総会があります。総会は会員をもって構成。総会では、会則の変更、解散、合併、事業報告及び収支決算、監事の選任又は解任、及び職務、資産の管理、清算人の選任、解散した場合の残余財産の処分等の承認の場としています。



総会 窪島誠一郎さん講演会 2009年5月17日 日本教育会館(東京都千代田区)

後列左から 宇都宮義文、木村泰子、荒井一章、福嶋誠二、福井 豊、秋山俊幸、平園賢一、福田豊万、島野正和、渡辺 武、佐々木征、鈴木正道、小倉敬一、中山真一、金子 隆、堀 良慶、伊東總吉、松尾陽作
前列左から 佐久間智香子、渡邊 葵、安和朝忠、御子柴大三、中里直子、堀 光江、後藤洋明、野原 宏、窪島誠一郎、此木紀子、杉山恵子、清水栄子、川崎光草子、木村悦雄(以上敬称略)



総会 瀬木慎一さん（美術評論家）講演会 2010年5月16日 日本教育会館（東京都千代田区）

後列左から 渡辺 武、福井 豊、鈴木正道、三浦 徹、太田貞雄、田部井仁市、佐々木征、三好寛佳、小川榮吉、小松富士男、
 五大 宙、金井徳重、杉山恵子、安和朝忠、川崎光草子、御子柴大三、福嶋誠二、中村 徹、小倉敬一
 中列左から 平園賢一、木村悦雄、竹内里美、木村正子、金井節子、渡邊 葵
 前列左から 秋山俊幸、宇都宮義文、佐久間智香子、堀 良慶、瀬木慎一、野原 宏、増井朝子（以上敬称略）



総会 2016年6月19日 日本教育会館（東京都千代田区）

後列左から 小松富士男、田部井仁市、福井 豊、和田孝明、金井徳重、鈴木正道、中村 徹、杉野和夫、
 小倉敬一、中村儀介
 中列左から 鈴木忠男、伊東總吉、金井節子、安和朝忠、秋山 功、堀 光江、和田幸子、松尾陽作、川崎光草子、
 井澤尚子、平園賢一
 前列左から 佐々木征、上村真澄、小山美枝、中井嘉文、野原 宏、堀 良慶、笹木繁男、太田貞雄（以上敬称略）



総会 荒井一章さん講演会 2019年6月23日 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 (東京都千代田区)

- 後列左から 和田幸子、和田孝明、若林正臣 (『月刊美術』)、中山真一、今井敬子、金井徳重、荒井由泰、小松富士男、鈴木正道、上村真澄、横山俊樹、阿部真也、金子茂夫、福井 豊、薄井良昭、小倉敬一、鈴木忠男、歌代雄七、高木巧治
- 中段左から 櫻井 武、田中 実、不明、金井節子、新井 博、太田貞雄、佐々木征、秋山 功、安和朝忠、小山美枝、井澤尚子、堀 光江
- 前列左から 堀 良慶、中尾誠男、天童大人、笹木繁男、荒井一章、実川暢宏、平園賢一、川崎光草子 (以上敬称略)



理事会風景 日本教育会館 (東京都千代田区)

鈴木正道 (発表者) より右回りに野原 宏、堀 良慶、平園賢一、松尾陽作、佐藤裕幸、宇都宮義文、小倉敬一、佐々木征、木村悦雄 (以上敬称略) 起立発表者は会計報告

理事一覧(1/2)

西暦年	理事長(会長)	顧問 外交	事務局長 (副理事長)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事 (実行委員会)	理事
2021	平園賢一	野原宏	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	—	敬一雄	福田豊万	上村真澄	田村和司	—	小山美枝	水口英男	
2020	平園賢一	野原宏	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	—	敬一雄	福田豊万	上村真澄	田村和司	井澤尚子	小山美枝	水口英男	
2019	平園賢一	野原宏	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	—	敬一雄	福田豊万	上村真澄	田村和司	井澤尚子	小山美枝	—	
2018	平園賢一	野原宏	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	—	敬一雄	福田豊万	上村真澄	田村和司	井澤尚子	—	—	
2017	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	宇都宮義文	
2016	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	宇都宮義文	
2015	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	宇都宮義文	
2014	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	宇都宮義文	
2013	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	宇都宮義文	
2012	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	宇都宮義文 (監事～理事)	
2011	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	—	
2010	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	鈴木正道	川崎光草子	太田貞雄	—	
2009	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	鈴木忠男	—	平園賢一	木村悦雄	福井豊	寺嶋哲生	川崎光草子	—	—	
2008	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	(事務局担当)	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	寺嶋哲生	川崎光草子	—	—	
2007	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	猪羽恵一	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	寺嶋哲生	川崎光草子	大竹永明	—	
2006	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	猪羽恵一	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	寺嶋哲生	—	大竹永明	—	
2005	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	猪羽恵一	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	福井豊	寺嶋哲生	—	大竹永明	—	
2004	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	猪羽恵一	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	—	寺嶋哲生	—	大竹永明	—	
2003	野原宏	—	堀良慶	小倉敬一	猪羽恵一	松尾陽作	平園賢一	木村悦雄	—	寺嶋哲生	—	大竹永明	—	

注意：副理事長は2011年～兼務

理事一覧(2/2)

西暦年	理事	理事	理事 (実行委員会)	顧問 (実行委員会)	顧問 (実行委員会)	顧問 (実行委員会)	理事	監事 (実行委員会)	監事	顧問	顧問	顧問	顧問
2021	—	—	—	—	—	—	—	佐々木征	薄井良昭	中尾誠男	—	—	水谷嘉弘
2020	金子茂夫	—	—	—	—	—	—	佐々木征	薄井良昭	中尾誠男	—	—	—
2019	金子茂夫	—	—	—	—	—	—	佐々木征	薄井良昭	中尾誠男	—	—	—
2018	金子茂夫	—	—	—	—	—	—	佐々木征	薄井良昭	—	—	—	—
2017	佐藤裕幸	野口勉	—	—	—	—	—	佐々木征	小松富士男	—	—	—	—
2016	佐藤裕幸	野口勉	—	—	—	—	—	佐々木征	小松富士男	—	—	—	—
2015	佐藤裕幸	野口勉	三浦徹	—	—	—	—	佐々木征	小松富士男	—	—	—	—
2014	佐藤裕幸	野口勉	三浦徹	—	—	—	—	佐々木征	小松富士男	—	—	—	—
2013	佐藤裕幸	—	三浦徹	—	—	—	—	佐々木征	小松富士男	—	—	—	—
2012	佐藤裕幸	—	三浦徹	—	—	—	佐々木征	宇都宮義文	小松富士男	—	—	—	—
2011	佐藤裕幸	—	三浦徹	梅野隆	—	—	佐々木征	宇都宮義文	小松富士男	—	—	—	—
2010	佐藤裕幸	—	三浦徹	梅野隆	—	—	佐々木征	宇都宮義文	小松富士男	—	—	—	—
2009	—	—	此木紀子	梅野隆	—	—	岩本昭 (理事～監事)	宇都宮義文	—	—	—	—	—
2008	—	—	此木紀子	梅野隆	—	—	—	宇都宮義文	—	—	—	—	—
2007	—	—	此木紀子	梅野隆	—	—	—	宇都宮義文	—	—	—	—	—
2006	—	—	此木紀子	梅野隆	—	—	—	宇都宮義文	—	—	—	—	—
2005	—	—	此木紀子	梅野隆	—	—	—	古川洋一	—	—	—	—	—
2004	—	—	此木紀子	梅野隆	—	—	—	古川洋一	—	—	—	—	—
2003	—	—	此木紀子	梅野隆	—	—	—	古川洋一	—	—	—	—	—

V 理事会

理事会は年2回開催されます。理事会は理事、監事が出席します。

事業計画及び収支予算並びにその変更、理事長による理事の選任及び解任の承認、会員の除名、理事長による理事の職務選任及び解任の承認、役員、担当の報酬、借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄、事務局の組織及び運営、総会に付議すべき事項、総会の議決した事項の執行に関する事項、その他総会の議決を要しない会務に関する事項、その他、会の行事等の実務も理事会で決定されます。当会は総会よりも理事会が実務の中心を担っています。

総会と理事会は「あーと・わの会」の最高意思決定機関です。当会の特徴は実務の多くを理事会が担っていることで、理事会中心の会とご理解いただくと良いと思います。理事は与えられた業務を執行し、総会に出席し、会員の質問や提案に対して答える義務・責任があります。総会では会員から評価を受ける場と理解する必要があります。株主総会を想像してみると理解できます。

VI 理事・監事任命と役割 詳しくは会則（P.153～）をご参照下さい。

〈理事の担当・役割〉 理事は、理事長が決め、理事会において承認を受ける。理事は理事長判断のもと、理事会の議決により、監事は総会の議決により、これを解任することができる。

- 1 理事は理事長が決め任命されます。「あーと・わの会」の理事は一般組織という役員とは相違があります。どちらかといえば実務を推進出来る方を任命。①ボランティア意識を持ち ②担当及び理事就任への志願意識を持ち ③組織運営、特に行事にも参加、協力意欲があり、少しでも参加いただける方 ④経験少なく素人でも快く担当いただける方、理事（役員）経験なくとも努力いただける方に就任いただいております。①～④を持てば理事になれるともいえます。担当推進能力の経験少なく、不足している方、コミュニケーション能力が不足している方、一般的な事業推進能力等役員能力が無くても志願され、汗を流すことを厭わない方にご就任いただく場合もあります。
- 2 理事は与えられた職務（担当）を責任持って遂行してゆきます。2018年度の組織改革、若返り人事では理事全員に担当職務を持つようをお願いしています。
- 3 担当を持たぬ理事は事業、行事の提案や特任事業の担当推進、課題及び問題点の提議とその解決案の提出も他の理事と同様に求められています。又行事には協力、極力参加いただくようお願いします。
- 4 理事は会を代表して発言し、総会では会員からの質問に答える役割があります。例示：理事の役割、実績、課題形成能力、解決、今後の取り進め等です。
- 5 理事には ①自分に与えられた職務を責任持って遂行するとともに ②問題を見出し、課題を持ち、それを解決してゆくことが求められています。③批判、評論は単に定性的であるより、理由を明確にし、具体的で、対案、メリット、デメリットを提示してもらおうと良い。④単なる間違いの指摘、批判、評論が理事に求められているわけではありません。“相手を批評するときは、まず己の背中に大刀を突き刺し、腹に出た切っ先で相手を突く”という認識を持つと良いでしょう。⑤趣味の会のリーダーシップの最小3要素である、目標の共有、率先垂範、同僚支援（協力）が不可欠です。理事、担当はこの3要素を認識すると良いと思います。当会では特に同僚支援です。これに粘り強さ、決断力があると良いと思います。プロジェクト組織、〇〇チームでも共通です。理事にはリーダーシップが求められます。⑥「あーと・わの会」の理事、担当には今の能力を、今活用して、担当していただくことが基本です。ボランティア組織であり、資金も充分ではなく、ほんの少ない報酬ですが、期末に支払います。どちらかと言えば、ジョブ型人事、組織を採用。例外を除き、一般企業の如く時間を掛けて教育し、活用して、相当の報酬を払うことは「あーと・わの会」では無理です。
- 6 理事でない方の担当も置いています。担当は能力をお持ちの方に、又会員からの志願、希望等を参考に理事長、事務局長よりお願いして、本人の了解の上、理事会に報告、承認いただきます。

〈参考〉2019年度、理事でない担当は 会計：鈴木正道さん、会報発送等：川崎光草子さん、総務関係：宇都宮義文さん、表彰状・感謝状：小松富士男さん

VII 「あーと・わの会」の組織

当会はワイガヤの趣味の会です。組織はできる限りフラットにしてきています。会員は平等、実施においては公正、透明性のアップに努めてきています。理事や担当は理事長の指示系統のもとにあります。

事務局は参謀役（スタッフ）の立場です。理事や担当のサポート役です。会則の定めで、副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行します。事務局長は副理事長も兼務しています。理事長は本業を持つ現役の事情があり、忙しく、理事長の指示で副理事長が代行して業務に当たる場合があるとご理解下さい。

「あーと・わの会」では一般的な係長、課長、部長といった組織を取らず、理事長をトップに理事、担当を置き運営します。理事、担当以下は会員というフラットでシンプルな組織を選択しています。理事・担当はリーダーであり「会」の代表でもあるとご理解下さい。

組織はオフィスを持たないリモートワークです（オンラインは未整備、零細組織です）。そのリモートワークの欠点であるコミュニケーション不足、合意形成に注視すべきです。合意形成には意識的に対策が不可欠です。**1** 目的、目標を明確にしています。**2** 理事長指示事項に加え、「あーと・わの会」の目的、理念等を明確に伝えるため、**3** 会報、会誌を充実させています。多めの情報を心掛けています。**4** 加えて当レポート（各行事の概要）を作成、参考、指針にしています。**5** 理事長や各担当からの指示事項、連絡事項、案内は会報、会誌で極力早期に、平等に、情報はガラス張り、少し厚めに提供、伝えるようにしています。**6** 各行事項目別にまとめ、定期的に配布、会誌にも行事がまとまり次第、掲載しています。

Ⅷ 担当への謝礼

年度毎行事計画、予算は理事会で決定されます。このうち、担当に対する謝礼について報告します。2018、19年度謝礼（円／年）：HP制作費4万円、会誌制作費3万円、事務局経費（事務局担当）3万円、会計・NPO担当2万円、会計補助2万円、放談会経費3万円です。

Ⅸ 固定資産 は発足以来、常に持たぬようにしています。過去一度も固定資産は保有していません。身軽にしています。何時でも会の解散が容易にできるように発足当初より体制を整えています。勿論、「あーと・わの会」の会議室（資産）は保有していません。一応事務局に本部を置いていますが、打合せの部屋、パソコン、プリンター、電話等は個人の所有物であり、会議は都心で行われています。

X 会員の入会条件 NPOの定めでは去る者は追わず！ 来るものは拒まず（NPO法）！ でしたが、任意団体を選択することによって、入会に制約を加えてきています。2018年7月1日制定されたあーと・わの会の会則は入会条件を厳しくしています。

第7条 会員の入会について

2 会員として入会しようとするものは、別に定める入会申込書により、事務局経由で理事長に申し込むものとし、次の4条件を満たし、理事長の承認を得るものとする。

(1) 絵画・彫刻のコレクターであること。

注意：1 愛好家、画家、画廊主でも作品を蒐集していれば対象となる。

2 既にNPO法人あーと・わの会会員は対象外で(1)の制約を受けない。

(2) 会員の2名以上紹介のあること。（紹介1名の場合、事務局に相談、必要に応じ事務局が紹介者となる。紹介者ない場合、HP見て入会希望者は事務局、理事長で入会判断）

(3) 会の目的、理念を認識、了承すること。

(4) 社会一般常識を持ち、①会員同士の批判 ②会の批判 ③他会員の所蔵作品批判は抑制、批判は常識レベルで自制すること。

Ⅺ プロジェクト組織、〇〇チーム、顧問の採用

行事は担当を決め推進されています。担当が主導して行事は取り進められています。理事会で実行案が提案、予算化されます。又特任メンバー、プロジェクト組織、〇〇チームで推進される場合もあります。プロジェクト・リーダーには新規事業を立ち上げる力のある方、やり遂げる意志、力のある方、チームを成功に導くコミュニケーション能力があり、責任を持てる方を選抜し、チーム〇〇組織、特任チーム、プロジェクトで推進してゆきます。必要最小限のメンバーで構成され、理事会の承認を得て推進されます。「あーと・わの会」は実に様々な能力、経験者の集まりです。上手く経験者の力を結集し利用させていただいています。計画の承認、推進状況等都度、理事長への報告、理事会、総会への報告、承認を受け、情報は事務局を通して会報に掲載されます。トップ、リーダーは既存事業との調整、すり合わせ作業が

必要となります。プロジェクトは一種の「分化」と言っても良いと思います。「天井」を突き抜けるようなモチベーションを発揮してもらうには組織や集団から個人（小さなグループ）を「分化」する必要があります。仕事の分担や役割を明確にして権限と責任を与え、まとまった仕事を与えることが必要です。プロジェクトは自論が多出して船が山に登るようなことは極力避け、効率よく推進するのが目的です。

〈プロジェクト、チーム〉

書籍プロジェクト：平園賢一、野原 宏、堀 良慶、鈴木正道（2021年9月解散）

「名品展」チーム：金子茂夫、宇都宮義文、堀 良慶（2020年解散）

コラムチーム：上村真澄、荒井由泰、田村和司、佐々木征、鈴木正道、小山美枝、事務局

200文字作家略歴チーム：佐々木征、平園賢一、堀 良慶。略歴の校正では和田孝明らに手伝っていただいています

わたくし美術館会議チーム：水口英男、平園賢一、野原 宏、上村真澄、辻本高廣、秋山 功、高木巧治、堀 良慶で2021年発足

「あーと・わの会」20年のあゆみ 編集委員会：平園賢一、堀 良慶、田村和司、野原 宏、斉藤博美（編集）、塩崎浩子（校正）、渡邊智也（印刷管理）で2021年発足（以上敬称略、順不同）

〈顧問活動〉

「あーと・わの会」を新しい美術の世界に導いてくれる力のある方を選ばせていただいています。

- 1 笹木繁男さんはエッジコレクターの代表、美術普及活動のインフラに光を当て、現代美術資料センターを主宰、段ボール550箱の現代美術資料と3,000冊の図書、画集を東京文化財研究所に寄贈。著書も3冊発刊。藤田嗣治研究、戦争画研究の第一人者。3,000名作家略歴は笹木さんの夢、その志を「あーと・わの会」は引き継いでいます。『わの会の眼』発刊において美術系出版社より安い経費で制作のノウハウを伝授いただきました。質の良い現存コレクターの確保が目的でした。
- 2 実川暢宏さんは鈴木正道さんのご紹介、作家を世に出す成功者・そのノウハウをお持ち。尾崎正教さんと交友、わたくし美術館の活性化、わたくし美術館の会の命名者です。元自由が丘画廊主、多くの現代美術作家を世に送り出した目利き。2つの美術館館長経験者。著書3冊（1冊は近々発売）。今回顧問辞退されましたが今しばらく支援いただくようお願いしています。わたくし美術館活動に刺激を与え、わたくし美術館運動の再起動、質の良い現存コレクターの確保も期待。『尾崎正教伝』制作のご指示をいただいています。上手く尾崎正教さんの生誕100年展に合わせ完成したいと思えます。
- 3 中尾誠男さんは組織運営に加え多様性への対応、体制についてアドバイスいただいています。異色の人材です。元三菱化学エンジニアリング専務。日中友好協会会員。いくつもの社外重役のご経験があり、趣味の会にも所属。営業が専門で新規事業の開発営業にも力をお持ちです。会に趣味の会、社会貢献のありようについてもご検討いただいております。

XII 運営のチェック

内部における運営チェック：**1**理事会、総会で運営のチェックは定期的実施されています。**2**監事による定期的チェック、事業、会計監査を受けています。1、2名の監事を置き理事の行動も含め監督、チェックいただいています。**3**アンケートも必要に応じ実施し、会員の皆さん全員のご意見や評価をいただいています。2013年3月、2016年3月実施。**4**顧問によるアドバイスをいただいています。**5**指標は行事参加者数となります。

〈運営の事例〉（マンネリ防止、組織硬直防止策は経営の中で少し高度になります）

「あーと・わの会」では運営に工夫して意図的（マンネリ防止を含む）に刺激を与え続けています。ルーチンワークはシリーズ化で向上を図る、一方で新しい行事、事業、体制見直しも積極的にトライしています。改善が行われ小さな成功を収め、継続させることが趣味の会の運営において大切なことがらだと認識しています。

(1) 野原理事長のご指示、ご提案の10周年記念行事は書籍プロジェクトとして平園リーダーのもと、

2012年『わの会の眼』を発刊し、好評、成功を取っています。又「わの会」展が公立の平塚市美術館で開催されました。「あーと・わの会」のレベルの高さを世に知らしめた効果があります。3,000人強の入館者数、約70件のマスコミ掲載数の多さは公益性を示し、自信と勇気を与え、マンネリ防止効果が明確です。寄付も増加。2021年には平園理事長のご指示で20周年記念行事として『「あーと・わの会」20年のあゆみ』の制作が推進されています。

- (2) 広報体制を整え、チャンスを逃さず、投げ込み投稿するように努力しています。HPをリニューアル、内部制作し、画像も加え「あーと・わの会」の広告塔に昇格。結果例：マスコミに会員記事の掲載が2017年113件、2018年373件です。「わの会の眼」展、松山庭園美術館の「猫ねこ展」等が人気に加えネット上の掲載もあって増加しています。アクセス数も1日数十件から数百件、2019年には1,137件と1桁アップしています。社会性、公益性の向上を自覚。項目別の年別アクセス数の推移は経営の基礎データにも利用できます。
- (3) 2010年にはNPO格を取得し一般組織並みの組織、定款、レベルアップを図ってきています。理事長のご指示でNPO格取得には、太田貞雄さんが中心に組織したNPO法人設立準備委員会7名が2年ほどかけて推進されてゆきました。行政のチェックを受け、会が一般レベルを有していることが証明できました。NPO格取得が「あーと・わの会」に信用と飛躍のチャンスを与えました。加えて市民への行事参加の開放、HPの公開、掲載が進みました。
- (4) 2017年から始まったNPO格返上を核とした組織改革と大幅な人事変更、特に若返り人事は急がず時間を掛けました。2018年7月1日新体制が実現、2021年12月に上手く着地し、やり遂げています。

会の運営において対立するものを両立するために

物故作家コレクターと現存作家コレクター、洋画コレクターと日本画コレクター、ベテランコレクターと初心者コレクター、コレクターとわたくし美術館、中央と地方、美術専門家と市民コレクター、ベテラン市民コレクターと「美術を齧った素人の絵好きの方」、一見対立するものを融和、両立させるにはどうすれば良いのか？

- 1 理念である“わ”“和”“輪”を前面に出していきました。二元論に落ち込まぬよう、一見対極にあるものを理念により両立させる、両立できる意思を持ってコツコツ誘導してきました。
- 2 目的を明確にしてきた絵を楽しむ趣味の会、美術普及の会であることを喧伝しました。
- 3 コレクターに区別を付けず、質、物故作家と現存作家、洋画と日本画等を入会条件にしない、コレクターであること、紹介者がいることに絞っています。
- 4 「わの会」コレクション展をわたくし美術館で開催し続け(巡回展を含め15回)融合を図ってきました。コレクターとわたくし美術館の協働を進めています。
- 5 わたくし美術館(現存作家扱いが多い)増に関し、殆ど経費を使わずに組織化、推進しています。4館から22館(会員の3割)へ増加。コレクターの目標、双六の上がりわたくし美術館であることをコツコツ訴えています。
- 6 会は30名の会員で発足、物故作家コレクターだけでは少なく、多くの行事をこなすには最低60万円/年(60名会員)が必要と判断し、理事会の承認、事務局の柏わたくし美術館のお客様、現存作家コレクター、さらに、各地のわたくし美術館にも入会を勧め、2006年には60名の会員としたことにより、資金源と運営に安定を確保できました。
- 7 『わの会の眼』初版と『わの会の眼Ⅱ』の発刊には物故作家コレクターの平園賢一さんをリーダーに選び、『わの会の眼』は時の試練に耐えた物故作家に特化、『わの会の眼Ⅱ』では現存作家も加えてゆきました。双方からコンプレインは出ず、合意。2017年の『わの会の眼Ⅱ』発刊そして企画展(名品展)開催においても、2012年の『わの会の眼』発刊、企画展に続き、日本一のコレクター集団であることがあらためて証明されました。
- 8 アンケートを行い、NPO組織(明確なボランティア、市民へのサービス活動)を取り入れ、定性的批判に対し具体的数値で表し、明示してきました。コレクター数、わたくし美術館数、コレクターとわたくし美術館との入館者数、マスコミ掲載数、美術普及活動等で比較し、数値をガラス張りにしています。

9 発足当初集まった、わたくし美術館と物故作家中心の目利き集団に全幅の信頼と自信を持っていたので、現存作家コレクター、作家、画廊をあまり制限なく受け入れても会はビクともしないという自信が存在していました。

「マンネリ」と「批判」と「作り込み過ぎ」

この3つは、ボランティア趣味の会においての厄介者です。「マンネリ」は行事参加者数の減、「批判」はされた方はやる気を失う、「作り込み過ぎ」は固くなり差別を生みます。いずれも度が過ぎると会を衰退に向かわせます。「批判」は行事を委縮させ、「マンネリ」に至る、又「作り込み過ぎ」に至ります。

トレードオフ（相反）に見える一方で、深く観察するとトレードオン（価値を同時に高める）に至る方法があります。解は智慧にあり、融合の意思にあります。「批判」は改革の一丁目一番地です。改良のキッカケになります。「わの会」展、「わの会の眼」展は、「わの会」コレクション展の批判対策でもありましたが、作り込み過ぎかも知れません。名品展の3,000人入館者数目標についての指摘を受けました。目標は成功の一里塚である一方、作り込み過ぎかも知れません。NPO組織化の目的の一つは批判対策でもありました。信用、レベルアップの成果はありましたが、負担を感じるようになっていました。さらに上級の認定NPOを検討の矢先、KOさんから“負担が多く、益は少ない、趣味の会ではやるべきでない”とご指摘を受け、我に返りました。「作り込み過ぎ」は担当に負担がかかり、面白くなるケースもあり、高齢化下では負担で自滅に至る可能性があります。これらはトレードオフに見える一方で掘り下げて見ると二元論に突き当たります。マンネリと成長、批判と称賛、「ズボラ」と「作り込み過ぎ」、これらを上手く融合させる方法に“わ”の理念があります。ワイガヤであり、100点を求めぬ楽しい会の理念があります。差し潮と引き潮、四海波静か！ とは中々上手く行きません。海は深くて穏やかに見えるが底流には潮流もあります。そのことの“気づき”にポイントがあります。急がずに時間を充分にとる鼎立という方法も選択肢から外さないことです。厄介者を宝にすることが大切です。

肯定と否定の数知れない闘争の後に現れる理想が着地点になります。常に理想を目指すことを諦めないことです。



総会 高木巧治さん講演会 2018年6月 TKP ガーデンシティ御茶ノ水（東京都千代田区）

後列左から 中村 徹、大澤 景（『美術の窓』）、小倉敬一、中尾誠男、中村儀介、小林美希、阿部真也、和田幸子、和田孝明、井澤尚子、田部井仁市、小山美枝、金子茂夫、横山俊樹、鈴木忠男、福井 豊、薄井良昭、杉野和夫
中列左から 田中 実、上村真澄、木村正子、新井 博、木村悦雄、今井敬子、堀 光江、川崎光草子、福田豊万、畝 一雄、伊藤英一、秋山 功、野口 勉
前列左から 太田貞雄、小松富士男、堀 良慶、鈴木正道、高木巧治、野原 宏、平園賢一、佐々木征、安和朝忠、伊東總吉（以上敬称略）

2021年度行事担当、理事

I 役員担当

敬称略・順不同

担当	役員	内容A	内容B
理事長	平園賢一	理事長	会の業務を統括
副理事長	堀 良慶	副理事長	理事長指示により代行
事務局長	々	事務局(参謀役)	会報、内外の窓口
理事	小倉敬一	講演会、美術情報	講演会演者の調査、選抜
理事	鈴木忠男	レクレーション 1~2回/年	美術館訪問、作家訪問 コロナ禍中止
理事	畝 一雄	コレクターの会	金沢でコレクターの会運営 地方美術普及活動
理事	福田豊万	アールブリュット企画	現存作家コレクター 美術普及活動活発
理事	上村真澄	HP・広報	HP保守更新、コラムチームリーダー、わたくし美術館
理事	田村和司	HPモニター	HPフォロー
理事	堀 良慶	放談会	写真、記録作成
理事	々	放談会	会場、司会
理事	小山美枝	会誌(四季報)	会誌編集・制作(コラムとの調整)
理事	水口英男	わたくし美術館	わたくし美術館会議担当
最高顧問	野原 宏	外交	「あーと・わの会」紹介、宣伝
監事	佐々木征	会計・事業監査	理事の監督

注意：全理事が担当

注意：特定者に作業集中を回避、分散

II 会員の担当

理事以外の担当

担当項目	担当	内容A	内容B
会計	鈴木正道	会計担当継続・NPOは返上	現金主義の一般会計 定着
会計補助	堀 光江	記帳、振り込み	銀行口座一本化
総会・表彰	小松富士男	表彰状・感謝状	
総会・受付	鈴木正道・堀 光江・応援者	受付、会費受付	
会報	川崎光草子	会報・会誌・DM・資料発送	
総務関係	宇都宮義文	総務関係専門家	必要に応じ相談

注意：堀 光江は会員ではないが、事務局手伝い

III チーム・プロジェクト担当

担当項目	担当	内容A	内容B
会則チーム 2017~2018年	太田貞雄、佐々木征、宇都宮義文、堀 良慶、野原 宏、平園賢一	現任意団体 会則(作成済)	会則チームで作成、理事会、総会で承認 2017~2018年
コラムチーム 2018年~	佐々木征、荒井由泰、田村和司、小山美枝、鈴木正道、事務局だよりは中断 上村真澄リーダー(HP)	コラム投稿 HP掲載	コラムに人気 担当繁忙HP掲載に制限、投稿ブレーキ調整中
書籍プロジェクト 2011~2021年 2021年解散 展覧会担当	野原 宏、平園賢一、堀 良慶、齊藤博美(編集デザイン)、中山ゆかり(編集) 平園賢一リーダー、鈴木正道(2021年退任) 展覧会担当：堀 良慶、宇都宮義文、金子茂夫(2020年解散)	2021年名品展推進 名品展後、一般行事へ	『わの会の眼』I、II発刊 2021年9月プロジェクト解散 公立美術館2館で「わの会」展、「わの会の眼」展を開催 パレット柏で名品展開催 2021年9月プロジェクト解散、一般行事
200文字作家略歴 校正	佐々木征、堀 良慶、平園賢一 校正担当：和田孝明、佐々木征、堀 良慶 100件以上	2018年HPに1,600名略歴を掲載 2020年5,000名原稿達成	5,500名略歴2023年4月完成
わたくし美術館会議 (チーム)	水口英男、秋山 功、堀 良慶、辻本高廣、上村真澄、平園賢一、野原 宏、高木巧治、各わたくし美術館 2021年	わたくし美術館増、わたくし美術館アクセス増	わたくし美術館会議 2022年コラム設置、情報提供の充実検討
20周年記念行事 「あーと・わの会」 20年のあゆみ	編集委員会 平園理事長 堀 良慶(企画・原案)、野原 宏(アドバイザー)、田村和司(起案・項目)、齊藤博美(編集)、塩崎浩子(校正)、渡邊智也(印刷管理)	会員アンケート2021年3月~ 準備委員会→編集委員会 計画案2021年12月	準備委員会運営(2021年12月まで) 以降編集委員会 2022年2月編集会議開催、2023年4月完成

行事担当一覧(1/2)

敬称略・順不同

西暦年	理事長	最高顧問 外交	会計	監事 監査・理事監督	監事 監査・理事監督	監事 監査・理事監督	事務局	会報	会誌	会誌 編集委員会	放談会 日程、司会、場所	放談会 記録・編集	放談会 写真	放談会 紙制作
2021	平園賢一	野原 宏	鈴木正道	佐々木征	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	小山美枝	—	堀 良慶	—	—	—
2020	平園賢一	野原 宏	鈴木正道	薄井良昭	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	小山美枝	—	金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	—
2019	平園賢一	野原 宏	鈴木正道	薄井良昭	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	小山美枝	—	金子茂夫	井澤尚子	井澤尚子	—
2018	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	小山美枝	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2017	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2016	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2015	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2014	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2013	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2012	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2011	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2010	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2009	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2008	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2007	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2006	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2005	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2004	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—
2003	野原 宏	—	鈴木正道	小松富士男	佐々木征	堀 良慶	堀 良慶	堀 良慶	太田貞雄	—	野口 勉	野口 勉	野口 勉	—

注意 大：大竹永明、古：古川洋一、福：福井豊、栗：栗保佳代子、堀：堀良慶、川：川崎光草子、鈴(忠)：鈴木忠男、野：野口 勉、太：太田貞雄、摘水軒：公益財団法人摘水軒記念文化振興財団

行事担当一覧(2/2)

敬称略・順不同

西暦年	マスコミ	HP	講演会 (情報)	レクレーション	わたしくし美術館 会議	会報配布	会計補助	表彰状	総務	NPO	美術普及 地方・現存	美術普及 生の芸術・現存
2021	堀 良慶、上村真澄	上村真澄	小倉敬一	鈴木忠男	水口英男	川崎光草子	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	—	畝 一雄	福田豊万
2020	堀 良慶、上村真澄	上村真澄	小倉敬一	鈴木忠男	水口英男	川崎光草子	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	—	畝 一雄	福田豊万
2019	堀 良慶、上村真澄	上村真澄	小倉敬一	鈴木忠男	水口英男	川崎光草子	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	鈴木正道	畝 一雄	福田豊万
2018	堀 良慶、上村真澄	上村真澄	小倉敬一	鈴木忠男	水口英男	川崎光草子	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	鈴木正道	畝 一雄	福田豊万
2017	堀 良慶、上村真澄	上村真澄	—	—	—	—	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	鈴木正道	—	—
2016	堀 良慶	上村真澄	—	—	—	—	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	鈴木正道	—	—
2015	堀 良慶	上村真澄	—	—	—	—	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	鈴木正道	—	—
2014	堀 良慶	上村真澄	—	—	—	—	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	鈴木正道	—	—
2013	木村悦雄	猪羽恵一 →上村真澄	猪羽恵一	—	—	—	堀 光江	小松富士男	宇都宮義文	太田貞雄	担当の平均在籍期間 6年/名(平均) (累計年数281年・累計人数47名)	
2012	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2011	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2010	—	宇都宮リ工	宇都宮リ工	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2009	—	宇都宮リ工	宇都宮リ工	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2008	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2007	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2006	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2005	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2004	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2003	—	猪羽恵一	猪羽恵一	—	—	—	—	—	—	—	—	—

理事の平均在籍期間
7.5年/名(平均)
(累計年数322年・累計人数43名)

委員会・プロジェクト・チーム

敬称略・順不同

コレクターが創る!「わたくし美術館の会」準備委員会	実行委員会(理事会)
野原宏、平園賢一、寺嶋哲生、岩本昭、桜井佐七、梅野隆、猪羽恵一、此木紀子、大竹永明、小倉敬一、松尾陽作、堀良慶(わたくし美術館は4名)	実行委員会(後、理事会)は年に数度、2003～2007年頃度々開催 その後も放談会開催時に実施(10分ほど)
任意団体 コレクターが創る!「わたくし美術館の会」の創立	放談会開催時に実行委員会実施(2008年以降も必要に応じ実施継続)
2002年10月31日第1回発足準備委員会 2003年5月任意団体 コレクターが創る!「わたくし美術館の会」発足	
会長(理事長)に野原宏会長(後、理事長)、事務局長に堀良慶を選出	

NPO法人設立準備委員会	あーと・わの会 会則チーム(設立準備委員会、任意団体選択)
太田貞雄(リーダー)、佐々木征、宇都宮義文(監事)、堀良慶(事務局)、野原宏(会長)、鈴木正道(会計)、川崎光草子	太田貞雄、佐々木征、宇都宮義文、堀良慶、野原宏、平園賢一 2017年～2018年6月 2017年3月の理事会でNPO返上を決定
NPO法人あーと・わの会の創立 2010年8月 NPO格取得	あーと・わの会・任意団体の会則
2010年5月 承認	2018年6月設立準備委員会は新理事にバトンタッチ 2017年準備委員会を経て、理事会、2018年総会で承認
2009年～調査開始 2009年5月 中間報告 2010年1月設立準備委員会 2010年8月 NPO登録 2014年 NPO担当は太田貞雄から鈴木正道へ	2017年～任意団体の会則検討、作成 2018年6月にNPO返上(実務鈴木正道)、任意団体を選択

作家略歴チーム	書籍プロジェクト(『わの会の眼』シリーズ)
佐々木征、平園賢一、堀良慶(リーダー、原稿作成)、上村真澄(HP掲載)	平園賢一(リーダー→理事長)、野原宏(理事長→最高顧問)、堀良慶(企画)、鈴木正道(会計)、斉藤博美(編集デザイン)、中山ゆかり(編集)
募集、理事会、総会で都度承認	募集、理事会、総会承認
校正 和田孝明、佐々木征、堀良慶ら、多くの方から校正いただきました	(展覧会チーム) 宇都宮義文、金子茂夫、堀良慶 (2019～2020年解散)
2010年発願 トライアル227名HP掲載 2018年1,600名略歴作成 2021年5月5,000名略歴作成 2023年4月5,500名略歴完成	2010年募集～2011年6月より書籍プロジェクト会議7回開催 2012年『わの会の眼』発刊(発足10周年記念事業) 2015、16年『わの会』展「わの会の眼」展開催 平塚市美術館 3,414人、東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 1,322人 2017年『わの会の眼II』発刊、2021年名品展(「わの会の眼II」展) 1,601人 2021年9月プロジェクト解散、一般行事に

わたくし美術館会議・チーム(再開)	コラムチーム
水口英男、堀良慶、上村真澄、秋山功、辻本高廣、平園賢一、野原宏、高木巧治、各わたくし美術館 わたくし美術館チーム→わたくし美術館会議	上村真澄(リーダー)、佐々木征、荒井由泰、田村和司 小山美枝、鈴木正道、事務局 2017年～計画、2018年実行
	HPへコラム欄設置、コラム掲載
理事会、総会承認 わたくし美術館会議の再開 2022年2月開催	募集、理事会、総会で承認
HPにコラム欄設置	再募集 2021年10～12月、水谷嘉弘

「あーと・わの会」20年のあゆみ 編集委員会
20周年記念行事募集 2021年3月10日の会報より～5月15日期限2ヶ月間の募集 平園理事長のご指示で、20周年記念行事の準備費用150,000円の予算化が2021年6月理事会、総会で承認 2021年8月田村理事提案の『「あーと・わの会」20年のあゆみ』制作が理事長により決定 具体的計画を策定 2年間ほどかけ推進、2023年4月300冊、制作完成 資金は一般経費300,000円+U氏基金+寄付 (内訳:一般経費300,000円/3年間、U氏基金、寄付) 2021年10月編集準備委員会が開催 基本計画策定
編集委員会: 田村和司(起案、項目)、平園賢一(理事長)、野原宏(社史、業界史経験)、堀良慶(企画、原稿、資金手当)、斉藤博美(編集)、塩崎浩子(校正)、渡邊智也(印刷管理)の7名
2021年12月基本計画承認、2022年2月編集会議開催、2022年6月原稿完成 2023年4月完成

I 美術普及活動

美術普及活動の概況

美術普及項目		西暦										市民への開放	コロナ影響
		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年			
1	わたくし美術館の企画展、個人、作家企画展	38件	40件	35件	33件	32件	32件	36件	35件	31件	〇～◎	やや停滞	変わらず
2	コレクション活用(美術館での企画展に利用)	29件	49件	50件	77件(高贈2)	54件(高贈2)	67件	41件	38件	26件	〇～◎	やや停滞	3～5割減
3	その他の美術普及活動	17件	21件	28件	33件	36件	37件	43件	28件	28件	〇～◎	やや停滞	3～5割減
4	「わの会」コレクション展	2012年『わの会の眼』			第11回	中止	～	～	～	～	〇～◎	好評	～
5	10周年記念行事 図書発刊					2017年『わの会の眼II』					◎	成功	～
6	10周年記念行事「わの会」展「わの会の眼」展			2015年12月～16年3月	平塚市美術館、東海市梅野記念絵画館・ふれあい館						◎	成功	～
7	「わの会の眼II」展(名品展)					「わの会の眼」新刊					◎	成功	～
8	20周年記念行事「あーと・わの会、20年のあゆみ										◎	成功	～
9	放談会開催(回/年)	4回	4回	4回	4回	2回	4回	3回	4回(HP)	1回(HP)	△	ネット上	ワイガヤ中止
10	会誌(回/年)	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	3回	内部	一部コラムへ	変わらず
11	会報(回/年)	22件	12回	12回	12回	113件	373件	693件	277件	12回	内部	要点HP掲載	変わらず
12	会員・会のマスコミ掲載、放映(件/年)	110件	250件	390件	444件	650件	940件	1,137件	1,178件	274件	◎	停滞、HPが旗	減だが多い
13	「あーと・わの会」のHPアクセス数(件/日)	15,000人	19,000人	30,000人	60,000人	50,000人	60,000人	60,000人	30,000人	1,111件	〇～◎	増	動画掲載
14	市民の受益対象者数	12館	13館	～	13～15館	～	15館	19館	19館	30,000人	〇	コロナ禍停滞	半減
15	わたくし美術館会員数	3	3	3	3	3	3	4	4	5	〇	微増 美術館運動	安定
16	画廊数	68	69	71	70	72	72	69	67	69	～	65～75名目標	漸増
17	会員数	32名	33名(密3)	33名(密3)	30名(密0)	40名(密0)	43名(密3)	42名(密10)	中止	書面開催	×～△		書面実施
18	総会(講演会)	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	書面開催	書面開催	～		書面実施
19	理事会(回/年)	HP/リニューアル							1+モニター+事務	1+モニター+事務	〇	HPアクセス多	マスクミ減、HP増
20	広報・HP								1+補助	1+補助	～	健全経営	繰越金増
21	会計	40,000円(2件)	30,000円(2件)	140,000円(9件)	60,000円(4件)	70,000円(6件)	50,000円(3件)	160,000円(7件)	130,000円(6件)	423,000円(9件)	寄付の規模はNPO並み		増

注意 補助：会計補助です。記帳、振り込み、残金確認等を実施

II 美術普及の開発(美術普及のインフラを含む)

美術普及項目	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	市民への開放	コロナ影響
22 HP コラム欄	—	—	—	—	募集、計画	3名～	3名	4名	5名(募集)	〇～◎	好評
23 200文字作家略歴	—	—	—	募集、計画	募集、計画	1,600名原案	4,000名原稿	5,000名原稿	5,500名原稿	〇～◎	拡充
24 HP 貸出可能作品データベース	当初より計画				募集、計画	1名	1名、募集	1名、募集	1名、募集	△	反応薄
25 わたくし美術館コラム、わたくし美術館チーム	—	—	—	—	—	—	—	—	準備中	〇	美術館増、準備中

III 2020、2021年度 コロナの影響

行事	総会は中止、書面	理事会は書面	レクリエーション中止	主要行事は工夫を加えて継続開催努力
美術普及	美術普及活動は概ね3割減	(参考) 美術普及、社会貢献は数値でも把握に努力	データ化推進	
	入館者数は概ね3割減～半減	名品展コロナ禍開催(入館者数半減)		

IV 概況・対策

経営	健全経営続くか資金はやや不足気味、寄付金頼り状態
組織	2010年NPOを選択、市民への行事開放推進 2018年6月NPO返上、7月任意団体選択、組織改革、若返り人事推進
美術普及	わたくし美術館とコレクターの美術普及活動の推進 コレクションの活用
コロナ	コロナ対策 コロナ後準備 デジタルガイド(情報格差)に配慮 動画導入

10 美術普及活動

「あーと・わの会」の美術普及活動は「わの会」コレクション展、画集制作、『わの会の眼』発刊・企画展等です。「わたくし美術館」「画廊」活動、「あーと・わの会」の行事を含む各種美術普及、美術普及活動のインフラとして、5,500名作家略歴等内容のご紹介です。

10-(1) 「わの会」コレクション展、画集制作

「わの会」コレクション展は、「あーと・わの会」の最も重要な行事「コト」です。絵画、彫刻という「モノ」がその中心にあり、コレクターにとっても「わたくし美術館」にとっても柱になり、不可欠な「モノ」です。「わの会」コレクション展は会員の皆様から絵を集め、写真を撮り、画集（画像、コメント、略歴）を作り、展示会場を決め、展示作業、オープニングパーティーを開催、名物の絵を前にしてギャラリートークとお祭りの「トキ」を楽しみます。

発足当初より、零細組織であるため、予算は殆どなく、1点1万円の出品料でスタート、後に会から10万～20万円程度の浄財を出していただいていた開催してきました。不足分は手作り、出前、自前で行われています。会場費は会員わたくし美術館では無料開催をお願いし、画廊開催では安価に開催していただきました。東京展開催を強く求める意見もあり、公的ギャラリー、例えば品川区民ギャラリーでの開催も実施してきています。

画集制作

会員は平等で自由参加です。「わの会」コレクション展では、画集制作費用として、1万円/1、2点の出品料で自由に出品いただきます。勿論、出品者が主役です。「わの会」コレクション展開催、画集制作は「わたくし美術館」が持つノウハウで行われています。発足当初、東御市梅野記念絵画館の梅野館長のアドバイスをいただいています。会場も「わたくし美術館」を基本に開催されています。12回（巡回展を含む）が会員の「わたくし美術館」で開催されています。毎回、コレクション展開催時にはパーティーも展示会場で行われ、出品者による作品紹介（ギャラリートーク）が名物行事に成長しています。

「わの会」コレクション展

2004年に第1回の「わの会」コレクション展が柏わたくし美術館で開催され、以降2016年の品川区民ギャラリーの第11回「わの会」コレクション展まで、12年間開催されてきました。加えて絵画フェスタも湯島の羽黒洞で1回開催しています。当レポートでは「あーと・わの会」組織が行ってきたコレクション展について、案内、説明致します。定期的に行われている「わの会」コレクション展に加え、その後バージョンアップして開催されている「わの会の眼」展等についても項目を変えて述べています。コレクション展における主役は皆さんの出品作品です。

「わの会」コレクション展の重要性

まずアンケートで見てみましょう（P.16）。2016年3月のアンケートで得られた〈魅力行事ランク〉でも〈評価項目ランク〉でも群を抜いて人気のある項目です。

・〈魅力行事ランク〉コレクション展 29人の投票数は会誌、会報を僅差で抑えてトップです。

ア コレクション展（含む画集）29人 イ 会誌 28人 ウ 会報 27人 エ 放談会（記録含む）22人

・〈評価項目ランク〉では ア コレクション活用実績 28人 イ コレクション公開数 15人 ウ マスコミ掲載数 14人 エ わたくし美術館入館者数 12人 オ 企画展開催数 11人 カ ボランティア活動 9人

〈コレクション展に関するアンケート 2016年3月の結果〉

項目	小項目	満足度	満足	まあまあ	不足	参加数
		A/(A+B+C)%	投稿件数A	投稿件数B	投稿件数C	会員数 67+2名
コレクション展		78%	31	7	2	35名
コレクション展画集		85%	34	6	0	々
コレクション展講演会		94%	賛成 30	外 15 内 8	不要 2	
品川区民ギャラリー		62%	21	10	3	
品川区民ギャラリー	コレクション展スキップ、出品料負担	86%	24		4	

実績

1 出品者数：32名～41名/回、**2** 出品作品数：34点～161点/回、**3** 作家数：35名～87名/回、**4** 開催回数11回、絵画フェスタを加えると12回、**5** 開催場所（巡回展の存在）全国21ヶ所で開催。内訳：柏わたくし美術館、松山庭園美術館、羽黒洞、ギャラリー KANI（3回）、キッド・アイラック・アート・ホール、ギャラリーアルトラ（2回）、ギャラリー川船、ほくさい美術館（3回）、ギャラリー アビアント（2回）、木更津わたくし美術館、アートミュージアム・まど（2回）、品川区民ギャラリー（2回）、神戸わたくし美術館、**6** 入館者数平均数百人。1,000人超は第2回展の松山庭園美術館1,500人です。

画集

会は会費と寄付の零細組織であり、カラー印刷の高額な画集（百数十万円/250冊）を制作することは至難でした。工夫したのが**1** 手作り、出前、自前での取り進めです。**2** 完全入稿スタイルで推進 **3** カラー印刷は高額で予算が手当できず、カラーコピーで実施。**4** 校正も内部で実施。**5** 画集制作は最も安い、藤沢の福祉施設である光友会に発注。250冊、30万～40万円と美術系出版社に比し1/3の費用で制作してきました。

コンプレインの事例と対策事例

「わの会」コレクション展も回を重ねてくるとマンネリ状態が発生していました。マンネリ対策としてもきめ細かく、問題点対策の具体的内容については下記の通りです。諦めず地道に対策してきた結果、次の飛躍、『わの会の眼』の発刊、企画展の成功に繋がってゆきました。

1 カラーコピーは質が低い（零細組織、予算なし、カラー印刷に対応できず）**2** カメラマンの要検討（具体的対案なし、継続して元会員のベテランのIさんを起用、安く、質を維持）**3** 誤植が多い（第5回展以降0～5件に減少、当初は初心者で、経験者が少ない関係で誤植を回避できず、時に10件のミスもあった。プロ校正者の起用は予算上できない）**4** 「わたくし美術館」は地方に多く、展覧会の開催について、交通が不便との指摘（零細組織、東京の方だけの会ではない実態をご理解いただき、東京展併設も実施、予算手当に苦勞）**5** 略歴に誤植が多い（略歴と画集編集担当を分け、1,500名のうち5,500名作家略歴を作成し、利用した）**6** 作品の棄損（過去2回発生、発生の都度対応。保険は付与できず）**7** 図録制作、企画展開催の実務経験者が少なく、事務局への作業集中（零細組織、経験者少ない。第11回展は川越チームへ移行したが、「わの会」コレクション展は継続できず中断。2018年の組織改革、人事改革で作業分散を図った）**8** オープニング時に合わせ実施される出品者のギャラリートークの発表が名物行事になった**9** 作品別展示位置、マスコミ掲載作品の決定者について（誰も引き受けない汚れ仕事、チーム及び事務局が対応、「わの会」展、「わの会の眼」展では、共催相手、プロジェクトで対応。マスコミ掲載作品は写真撮影の時に複数の方に選んでもらう等公平に努力するが、限界あり、結果不平等は不可避）**10** 真贋問題（自己責任で出品、毎回、「わの会」展、「わの会の眼」展も含め1～2件ちょっと怪しい作品があった）**11** 質の問題（自己責任、比較で自己判断に委ねる）**12** 乏しい資金（1万円/点以上の出品料には抵抗あり、一般会費からも出費限界）**13** 事務局への作業集中（要対策、妙案なし）**14** わたくし美術館一巡し、希望館減少 **15** 秘蔵の名品が出品されず。対策行き詰まり。背景に入館者数の伸び悩み、マンネリ状態。チームを柏チームから川越チームに変えトライしたが継続できず中断 **16** マスコミに投げ込み投稿等の努力を続けてきたが、大手マスコミは沈黙、入館者は数百名で伸び悩みあり、秘蔵の名品も中々出品されず、魅力いまいち **17** 「わの会」コレクション展シリーズはマンネリ状態を大きく改善できず、実質ギブアップとなった。

バージョンアップした『わの会の眼』発刊、「わの会」展、「わの会の眼」展に導かれるように軸足を移していった。出品料2万円/点、プロジェクト組織、出版して反応を見た上で、開催場所を決定。

展開

過去、11回実施されてきた「わの会」コレクション展シリーズは、並行して不定期的に行われている特別行事『わの会の眼』発刊事業と「わの会」展、「わの会の眼」展がとって代わることになりました。いわゆる「わの会」コレクション展は発展的解消、帰結となりました。手作り、自腹、出前が主の画集制作・企画展の開催の役割を終えたのです。

「わの会」コレクション展 実績一覧

敬称略・順不同

名称	開催日	開催場所	作品点数	出品者数	作家数	テーマ	オープニング数・オープニング協議	推定入館者数	画集
第11回「わの会」コレクション展	2016年8月17日～8月21日	品川区民ギャラリー（東京都品川区）	60点	33名	53名	人物画（裸婦、女性像、肖像画、自画像） 自由出品		250人	
第10回「わの会」コレクション展	2014年8月20日～8月25日 9月3日～10月10日 10月25日～12月10日	品川区民ギャラリー（東京都品川区） アートミュージアム・まど（長野県中野市） 神戸わたくし美術館（兵庫県神戸市）	54点	34名	47名	水彩画、パステル 自由出品	45名 中井嘉文	200人 350人 200人	
第9回「わの会」コレクション展	2013年8月15日～8月18日 10月27日～12月23日	ギャラリーアピアント（東京都墨田区） ほくさい美術館（埼玉県加須市）	54点	33名	47名	版画 自由出品		200人 500人	
第8回「わの会」コレクション展	2012年8月9日～8月12日 8月23日～9月23日 9月30日～11月4日 11月10日～12月10日	ギャラリーアピアント（東京都墨田区） 木更津わたくし美術館（千葉県木更津市） ほくさい美術館（埼玉県加須市） アートミュージアム・まど（長野県中野市）	60点	34名	51名	自由出品		300人 300人 400人 300人	
第7回「わの会」コレクション展	2011年8月1日～8月6日 8月13日～9月30日 10月7日～10月10日	ギャラリー川船（東京都中央区） ほくさい美術館（埼玉県加須市） ギャラリーアルトラ（石川県金沢市）	61点	41名	49名	池袋モンパルナス作家 自由出品	土方明司 40名	180人 350人 100人	
第6回「わの会」コレクション展	2010年9月5日～9月10日	キッドアライヴ・アート・ホール（東京都世田谷区） ギャラリーアルトラ（石川県金沢市）	34点	34名	35名	自由出品	40名 10名	170人 90人	
第5回「わの会」コレクション展	2009年9月13日～9月25日	ギャラリー KANI（東京都中野区）	67点	36名	54名	無名作家、埋もれた作家 自由出品も可	90名初日 笹木繁男	268人	
第4回「わの会」コレクション展	2008年9月7日～9月26日	ギャラリー KANI（東京都中野区）	66点	35名	55名	二点展			
第3回「わの会」コレクション展	2007年9月2日～9月28日	ギャラリー KANI（東京都中野区）	65点	34名	47名	二点展			146冊
「わの会」 絵画フェスタ	2006年8月17日～8月20日	羽黒洞（東京都文京区）	52点 (セリ14点)			落札34点、100万円 22名が出品	60名 ヨシダ・ヨシエ 30名	約250人 2日、75人	
第2回「わの会」コレクション展	2005年10月1日～11月28日	松山庭園美術館（千葉県匝瑳市）	161点	35名	87名	1930年協会・独立作家展 私の好きな作品・私の作品展	30名	1,500人	150冊
第1回「わの会」コレクション展	2004年8月29日～9月29日	柏わたくし美術館（千葉県柏市）	77点	32名	62名	自慢の作品、滞欧作品、デッサン作品 マスコミ掲載10件	36名	300人	122冊
合計			759点	381名	587名				



「わの会」コレクション展の画集



第3回「わの会」コレクション展 2007年9月2日～9月28日 ギャラリー KANI (東京都中野区)

後列左から 渡辺 武、不明、梅野 亮、福井 豊、中村 徹、佐藤裕幸、鈴木忠男、平園賢一、後藤洋明、不明、
此木三紅大、小松富士男、不明、木村泰子

中列左から 山根康壮、渡邊 葵、不明、堀 良慶、杉山恵子、福田豊万、野原喜子、川崎光草子

前列左から 宇都宮義文、笹木繁男、野原 宏、小川榮吉、御子柴大三 (以上敬称略)



第6回「わの会」コレクション展 NPO 法人あーと・わの会発足パーティー 2010年9月5日
キッド・アイラック・アート・ホール (東京都世田谷区)

後列左から 平園賢一、中村 徹、曾根原正好、中村晃也、福井 豊、佐々木征、渡辺 武、中尾誠男、小松富士男、中村儀介
中列左から 荒井よし枝、川崎光草子、佐藤裕幸、増井朝子、山下 透、五大 宙
前列左から 鈴木正道、鈴木忠男、松尾陽作、太田貞雄、野原 宏、堀 良慶 (以上敬称略)



第10回「わの会」コレクション展 2014年8月20日～8月25日 品川区民ギャラリー (東京都品川区)



「わの会」展（平塚市美術館）ポスター



第2回「わの会」コレクション展 2005年10月1日～11月28日 松山庭園美術館（千葉県匝瑳市）
展示作業後の小パーティー

左上から右回りに 山根康壮、市原正夫、野原喜子、野原 宏、堀 良慶、川崎光草子、此木三紅大、
此木紀子、不明、鈴木正道、松尾陽作、不明、福井 豊（以上敬称略）



「わの会」展 2015年12月5日～2016年2月7日 平塚市美術館（神奈川県平塚市）オープニング

後列左から 鈴木正道、小倉敬一、中村儀介、佐々木征、杉野和夫、福井 豊、小松富士男
 中列左から 太田貞雄、梅野レイ子、佐藤雅子、木村正子、松尾陽作
 前列左から 木村悦雄、笹木繁男、堀 良慶、野原 宏、川崎光草子（以上敬称略）



「名品展」チラシ



図書『わの会の眼』、『わの会の眼II』



『わの会の眼II』出版披露パーティー 2017年6月25日 日本教育会館（東京都千代田区）
 左から 佐々木征、平園賢一、木村悦雄、堀良慶、福井豊、太田貞雄（以上敬称略）



「名品展」会場 パレット柏入り口 2021年8月13日

10-(2) 図書『わの会の眼』『わの会の眼Ⅱ』発刊、「わの会」展・「わの会の眼」展・名品展開催

『わの会の眼』『わの会の眼Ⅱ』発刊の経緯

- 1 2010年8月、野原前理事長のご指示でNPO格取得後に10周年記念行事を計画、『わの会の眼』発刊が決定
- 2 2012年6月、『わの会の眼』発刊。作品153点、出品者36名、作家数135名、1,160冊
- 3 2015年12月、平塚市美術館で「わの会」展開催、入館者数3,414人。2016年2月、東御市梅野記念絵画館で「わの会の眼」展開催、入館者数1,322人
- 4 2015年12月『わの会の眼』再版。作品152点、出品者36名、作家数134名、400冊
- 5 2017年6月『わの会の眼Ⅱ』発刊。作品170点、出品者45名、作家数146名、1,000冊
- 6 2020年3月のパレット柏（柏市民ギャラリー）での名品展の開催は延期された。HPに10万件のアクセスがあった
- 7 2021年8月、パレット柏で名品展開催、入館者数1,601人（コロナ禍、緊急事態宣言下の開催）

I 『わの会の眼』発刊の経緯と結果

野原前理事長より、2010年8月、NPO格取得後に10周年記念行事についてご指示があり、書籍を刊行することが承認されました。書籍発行準備委員会（平園賢一さん、野原宏さん、堀良慶さん）で基本計画を作成。平園さんをリーダーとして書籍プロジェクトを設立、取り進めが決定。2011年6月に基本計画が策定され、第1回書籍プロジェクト会議が「いのは画廊」で開催されました。その後、第7回まで開催。

書籍プロジェクトは野原理事長、プロジェクト・リーダーに平園理事、企画担当に堀事務局長、会計に鈴木正道理事、編集にプロの中山ゆかりさん、編集デザインに斉藤博美さんの6名が主となり、取り進めました。

あくまでも主役は出品者の皆さんであり、出品作品、コメントです。本物の絵を掲載すべく、書籍プロジェクトは実に多くの会員の方に支えられて推進されました。皆さんからもいくつもアドバイスいただきました。特に校正作業では多くの方にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。2012年6月に『わの会の眼』発刊、1,160冊制作、校正は4校まで及びました（『わの会の眼Ⅱ』では2校までに制限）。自費出版、美術系出版社に比し、80万円ほど節約し（笹木繁男さんのアドバイスです）、企画展に転用できました。「わの会」コレクション展画集ではできなかった念願のカラー印刷も達成しています。2012年7月7日発刊披露パーティーにはマスコミ、お客様を加え50名が参加し開催。発刊は好評でマスコミ大手も記事掲載（日経新聞、朝日新聞）。2015年12月、平塚市美術館で「わの会」展開催、3,414人の入館者、2016年2月、東御市梅野記念絵画館で「わの会の眼」展開催、1,322人の入館者に恵まれました。貢献したのは秘蔵の作品の出品があったことです。

考察 美術関係者から時折聞きます。曰く**1**コレクターが力を付ければ良い！ **2**コレクターが結集すれば良い！ **3**コレクターの発言力を高めれば良い！ **4**コレクターが良い作家を発掘顕彰すれば良い！と言われてはきておりますが実施するのは難しいことです。故大川栄二さんや故梅野隆さん、故岩本昭さん等コレクターのリーダーが見えた頃はそのことも可能かと思う時期がありましたが、お三人の没後はコレクターのリーダーが不在のように見えます。一般市民の集まりである「あーと・わの会」が蒐集記を本として発刊し、展覧会を開催し、世に問う草の根のコレクター運動はとても重要です。コレクター活動の新しいモデルを作っているように思います。美術普及活動の新しい一選択肢、一つの美術普及活動を推進していると思っています。「あーと・わの会」の会員が、市民派、サラリーマン中心のコレクターが美術界に何かを問うております。平塚市美術館で冬場、入館者数の新記録を作ることができたのは、立派な功績であり私たちが目標とするコレクター活動に自信を与えてくれるものです。勿論、最大の功績は平塚市美術館、東御市梅野記念絵画館であり、当会の力、作品であると思います。入館者数の増加対策は、「わの会」コレクション展を11回実施してきた結果、“入館者数が少ない”という問題点があり、その対策の“もがき”の中でコツコツ実施してきたノウハウです。奇策なんてありません。

「わの会」展・「わの会の眼」展・名品展 実績

	名称	開催日	開催場所	作品 点数	出品者数	作家数		オープ ニング	入館者数	画集
2	名品展	2021年8月12日 ～31日 (2020年3月は コロナ禍延期)	パレット柏 (柏市民ギャラリー)	170点 (画集)	45名 (画集)	146名 (画集)	マスコミ掲載 76件	中止	1,601人 (コロナ禍、 緊急事態宣 言下開催)	1,000冊
1	「わの会」展	2015年12月5日～ 2016年2月7日	平塚市美術館	152点	36名	134名	パーティー 54名 マスコミ掲載72件	実施	3,414人	1,160冊
	「わの会の眼」展	2016年2月16日 ～3月27日	東御市梅野記念 絵画館・ふれあい館	(画集)	(画集)	(画集)	パーティー 60名 マスコミ掲載21件	40名	1,322人	400冊

実に地道な努力だけです。ほぼ考えられることは実施してきています。しかし漏れ落ちていること、やるべきこと、はまだあります。「あーと・わの会」の会員一人一人の工夫や努力が積み重なって入館者数に現れてきております。『わの会の眼』発刊、平塚市美術館「わの会」展での冬場特集展における3,414人の入館者数新記録達成は特に次に繋がる成果のように思えてなりません。現在でも私たちに自信を与えてくれる入館者数であり、見た方の反応もすこぶる良いです。『わの会の眼Ⅱ』発刊、「わの会の眼Ⅱ」展ではコレクターの秘蔵作品のさらなる出品があり、市民ギャラリー・パレット柏でコロナ禍、緊急事態宣言下でも1,601人の入館者数を数えました。『わの会の眼』発刊、「わの会」展、「わの会の眼」展開催の副次効果としては、**1** 寄付の増加 **2** マスコミ掲載件数の増加 **3** 美術普及活動の指標としての入館者数の増加 **4** 「わの会の眼」展開催以降は総会出席者数、放談会参加者数も増加してきています。

Ⅱ 「わの会」展、「わの会の眼」展開催

- (1) 2015年12月～2016年2月に平塚市美術館で「わの会展」開催、作品点数152点。平園リーダーの交渉で決定。3,414人の入館者（冬場特集展で新記録、アンケート回答1,035人）、68人/日、マスコミ掲載72件。
- (2) 2016年2月～3月に東御市梅野記念絵画館で「わの会の眼」展開催、作品点数113点。平塚市美術館、土方明司さんのアドバイスと野原理事長の交渉により実現。1,322人の入館者、30人/日、マスコミ掲載21件、パーティー60名参加。アンケート80人。
- (3) 両公立美術館の開催に当たり『わの会の眼』の再版400冊、計1,560冊（初版1,160冊）。

Ⅲ 『わの会の眼Ⅱ』発刊

『わの会の眼』初版の経験が大いに参考になり、又出品者の方々も一度経験されているので初版に比し、校正も2校まで済み、質問、コンプレインは減少しています。

2017年に『わの会の眼Ⅱ』発刊。出品者45名、170点が掲載。『月刊美術』に記事掲載、初版に比し、出品者数10名、出品点数20点の増です。作品選抜はせず全出品作品掲載としました。2016年5月計画策定、7月出品募集開始、2016年10月～2017年5月編集、2017年6月スムーズに完成しました。1,000冊を制作。

Ⅳ 「名品展」開催

2017年6月発刊後の反応は好評です。HPにも全文を掲載。『月刊美術』等に記事掲載。

2019年開催場所を柏市民ギャラリーに決め取り進め、コロナ禍、2021年8月に開催へ。

Ⅴ 『わの会の眼』発刊、「わの会の眼」展開催に当たっての心構え

信頼をベースに取り進めています。会員の皆様への“信”、当テーマ提案の野原理事長への“信”、リーダーの役割を担っていただいた平園リーダーへの“信”、笹木繁男さんのアドバイスへの“信”です。お二人のプロの編集者への“信”。企画展については平塚市美術館、東御市梅野記念絵画館、パレット柏（柏市民ギャラリー）への“信”を最も重視させていただきました。

その成果は、『わの会の眼』発刊、「わの会」展と「わの会の眼」展開催、『わの会の眼』再版、『わの

会の眼Ⅱ』発刊、名品展（「わの会の眼Ⅱ」展）の成功です。成功？ 成功とは何か？ その評価を言葉にするには難しい。「あーと・わの会」会員の所蔵作品のレベルの高さを、会員の皆様が把握され、そして一般市民に、美術界に紹介できました。出版は評判となり、会員に自信を与えてくれました。無償配布先、会員の友人らの評判はすこぶる良く、マスコミも前述の如く掲載してくれました。客観的データで見てください。マスコミ掲載件数は平塚市美術館 72 件、東御市梅野記念絵画館 21 件、パレット柏 76 件。入館者数は平塚市美術館 3,414 人、東御市梅野記念絵画館 1,322 人、パレット柏 1,601 人（コロナ感染第 5 波、緊急事態宣言下）でした。「あーと・わの会」の HP のクリック数は 1,000 件／日を超え、60 人／日強の読者が見えます。又『わの会の眼』再版、『わの会の眼Ⅱ』ともに HP に掲載、2020 年 2、3、4 月にはコロナ禍の影響で名品展の開催が延期となり、10 万件のアクセスがありました。このように公共性も向上しています。内部評価は『わの会の眼Ⅱ』への出品者数が 36 名から 45 名に増えたこと、コロナ禍、出品者に信をおき、意向を重視、出品辞退は無かったこと等である程度判断できます。担当としてはコレクターの秘蔵の作品が出品され、世に問うことができ、会員そして出品者の意向を、“信”を大切に結果だと思えます。

VI 「名品展」開催の結果の概要

- 1 名品展は 2021 年 8 月 12 日～ 31 日の 20 日間、パレット柏で開催。8 月 10 日（火）、11 日（水）は準備、9 月 1 日（水）は撤去、作品発送作業を実施。入館者数は 80 人／日平均（10 月開催の芹沢銈介展が 40～50 人／日、前回の平塚市美術館は 68 人／日平均）、合計 1,601 人と予想の半分でした。コロナ禍第 5 波の感染拡大ピーク時、緊急事態宣言下の開催としては、まずまずの成果だったと思えます。国立美術館の開館状況を把握し（宣言下 1 都 3 県休館なし）、「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を遵守しながらのコロナ対策（ウイズコロナ行動）の実施でした。
- 2 主な成果 ①入館者数 1 日 80 人、合計 1,601 人。②コロナ禍、絵好きの入館者が多く、滞留時間は長く、会員、1 日館長、入館者皆さんに好評。③マスコミ掲載数（ネット含）76 件、100 万円に相当の無料記事も掲載いただいた（公立美術館並みの扱い）。④パレット柏は共催組織とし、会場費、受付、コロナ対策、チラシ、DM、ポスターを負担（約 100 万円）、2020 年 3 月の開催は延期（80 万円相当負担）になりました。延期後では 20 日間の会期（倍増）をいただきました。⑤柏市民、柏市文化課、パレット柏との信頼関係は棄損されず、維持されました。⑥コロナ禍の開催に入館者数は予想から半減しましたが批判はありません。

効果と影響

1 出品された皆さんの秘蔵作品が図書『わの会の眼』初版（2012 年）1,160 冊、再版 400 冊、『わの会の眼Ⅱ』（2017 年）1,000 冊に掲載され、同書は美術館や国立国会図書館に収蔵、『わの会の眼Ⅱ』では一部を英文化し、世界の美術館にも収められました。**2** 皆さんの作品は公立美術館（平塚市美術館、東御市梅野記念絵画館）、パレット柏（市民ギャラリー）に展示され、マスコミにも大きく取り上げられました。HP にも多くのアクセスがありました。**3** これは、2 万円／点の出品料に対するコスト・パフォーマンスです。「あーと・わの会」に所属しているから実現でき、チャンスがあったと考えて良いでしょう。新しいことに挑戦するとき、常に利益とリスクの双方が潜在し、そのリスクを取るから結果が目に見えてあらわれます。**4** 市民ギャラリーで入館者数 1,500 人を超えることができました。コロナ禍で、しかも第 5 波の感染拡大時期の開催です。コロナ禍がなければ現場の実感として 2,000～3,000 人は達成できたと思えます。工夫次第で全国の市民ギャラリーでも立派なコレクション展が開催、成功できると思えます。**5** マスコミ掲載数、入館者数が表すように「あーと・わの会」の知名度、公益性ともに向上したのではと考えています。

皆さんの作品は本で紹介され、公立美術館、市民ギャラリーで公開され、会の公益性、ステータス（社会的地位）の向上に貢献されました。自慢は『わの会の眼Ⅱ』、名品展開催において 1 点も漏れ落ちなく、本の制作、名品展への出品ができたことです。ここに皆様のご努力が結実されたと思えます。心から感謝申し上げます。

「わの会」コレクション展が成長して「わの会」展、「わの会の眼」展、名品展となり、コレクター秘

蔵の作品も公開され、ここに一つの目標が達成できたと思います。一方趣味の会にとっては作り込み過ぎている可能性もあります。コレクション展とわの会の眼の中断、一休みは良い判断だと思います。コレクション展は特定者に負担がかかります。サラリーマンコレクターがごく普通にコレクションを発表できる場は放談会、会誌、美術館への貸出等幾つもあります。

10-(3) わたくし美術館・画廊

わたくし美術館・画廊は、「あーと・わの会」においてコレクターとともに重要な柱です。コレクターが美術普及に目覚めたと考えれば良いと思います。わたくし美術館は、多くの企画展、行事を推進、5画廊も含め、ともに美術普及を牽引していると言っても過言ではありません。「あーと・わの会」の会員は平等、自由です。会は公正な運営を心掛け、独自の組織、独自の行事へと展開されています。絵（芸術作品）というモノを中心に据え、行事（企画展、コレクション展、美術普及）というコト、お祭り（例：オープニングパーティー、講演会）というトキを楽しむことができます。わたくし美術館の活動はモノ、コト、トキの全てを包含しています。どこに軸足を置くかはわたくし美術館の自由です。一般的な美術館のルール、定義から離れ、自由な活動ができます。力のある方は発展的にアートフェスティバル・町おこしから地域を繋ぐアートラインに展開することも可能でしょう。

最近では「あーと・わの会」の会員数は64～72名で推移。そのうち、コレクターは50名、わたくし美術館は19館、未公開館が2館、インターネット美術館が1館です。計22館となります。会員の約3割です。美術普及を担う画廊は5画廊が集っています。(1)ブログ等、ネット上にコレクションの一部を公開されている方も見えます。(2)図書の中でわたくし美術館を開催している方も、コレクションの図録、図書を発刊されている方も存在しています。その美術普及、スタイルは実に各自各様、百人百様です。会はそれを丸ごと受け入れ、自由に伸び伸びと活動できるように皆で見守り、時に応援してきています。特に他の「わたくし美術館」、画廊との情報交換がとても大切なのです。

わたくし美術館とは：コレクターが絵画と立体の彫刻を蒐集、保存、展示、運営する場所。コレクターズ美術館である「わたくし美術館」と、特定作家を対象に展示する「個人美術館」も含むものとします。全国美術館会議に所属していない中小の私立美術館が対象です。美術館の5つの役割、1蒐集、2保存、3展示、4研究、5美術普及のうち、少なくとも前半の1～3項を有していることを基本とします。所蔵作品数、作品の質、展示スペース、展示点数は特に定めず、自由です。

わたくし美術館と新「わたくし美術館の会」について：現在の「あーと・わの会」の発足当初の名称、新「わたくし美術館の会」が尾崎正教さんのご遺族から引き継いだのは、「わたくし美術館」、「わたくし美術館の会」の名称と「一つの街に一つのわたくし美術館を！」の精神です。独自に工夫を加えながら、2003年発足した新「わたくし美術館の会」は、コレクターが多く、コレクター向けの行事を多くしてきました。バブル後の美術不況は長く続き、美術界は停滞、縮小の時代でした。又絵画需要は少なく、絵画供給過多、加えて美術市場では作品の商品化が進みました。加えて従来美術ヒエラルキーによる美術市場活動が機能しなくなってゆきました。新規の「わたくし美術館」は少なく、既存の「わたくし美術館」は当会に興味を持たれなかったのです。例えば、丹青研究所にお願いして既存のわたくし美術館のリストをいただき、手紙でそれらの美術館に新「わたくし美術館」への参加をお誘いしたのですが、反応薄、実質ゼロ回答でした（今、振り返って見れば当然の帰結、空振りでした）。新「わたくし美術館の会」に、旧会員は参加されず、旧組織、行事等の殆どを引き継がずに「一つの街に一つの美術館」の精神を引き継ぎました。会の発足時には会員にコレクターが多く、「わたくし美術館」活動を把握しながら、コレクターの行事を取り入れてゆきました。

わたくし美術館の行動は、熟柿作戦で ①コツコツ会員増。②11回に及ぶ「わの会」コレクション展開催においてコレクターとわたくし美術館との融合を図り、③会の名称も少しずつ変えていきました。④美術普及活動実績、マスコミ掲載数の実績を数値化、わたくし美術館の地位向上を図り、⑤理念、会

則（定款）、目的を明確にし、会の中のセクショナリズムを少なくする努力をしてゆきました。⑥その後、「あーと・わの会」のHPにわたくし美術館の作り方、わたくし美術館へのお誘い等をアップ、実績、ノウハウを積み上げてきています。模倣～改善～独自を基本に置き、推進され、現在では22館の「わたくし美術館」の組織となっています。「わたくし美術館」のコラム欄も計画されています。絵というモノを所有、コレクションし、まとまった絵を披露する企画展というコトを開催し、トキ（講演会や懇談会を開き、絵を楽しむ）、そして美術普及活動、社会貢献、精神世界の選択肢の拡大の転換ともとらえることができます。「わたくし美術館」の活動にはこれらの全てが包含されているように思います。



神戸わたくし美術館 2012年4月14日
左から三浦 徹さん、平園賢一さん

現在わたくし美術館は22館

公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団（千葉県柏市）、松山庭園美術館（千葉県匝瑳市）、柏わたくし美術館（千葉県柏市）、神戸わたくし美術館（兵庫県神戸市）、森のテラス（しゃんぐりら）（沖縄県南城市）、アートミュージアム・まど（長野県中野市）、ほくさい美術館（埼玉県加須市）、木更津わたくし美術館（千葉県木更津市）、ふるさと画苑（愛媛県松山市）、大鳳堂わたくし美術館（宮崎県児湯郡川南町）、中上邸イソザキホール（福井県勝山市）、公益財団法人 鋸山美術館（千葉県富津市）、裾野アートハウス（静岡県裾野市）、かがみの近代美術館（岡山県苫田郡鏡野町〈奥津温泉〉）、那須おもいで美術館（栃木県那須郡那須町）、ミニ・プチわたくし美術館（富山県富山市）、鬼石 私の本もの美術館（群馬県高崎市）、KEIS・ART美術館（佐賀県三養基郡みやき町）、悠々美術館（和歌山県紀の川市）です。公開されてはいませんが、野原 宏さんの野原コレクション（埼玉県久喜市）、木村悦雄さんのアトリエ 一隻眼（千葉県千葉市）の2館、ネット上美術館として平園賢一さん“絵のある待合室”も開設されています。計22館で会員の約3割となります。尚、図書の中で美術館を紹介されている方々も多数見えます。

過去所属されてきたわたくし美術館の会員は様々な理由、特に、自己実現、高齢化等で閉じられたり、会員を辞められた、その数は13館（下記）です。

ふくふく美術館（茨城県水戸市）、中村順二美術館（千葉県柏市）、ミュージアム小さなポケット（千葉県野田市）、中和堂中国美術館（千葉県山武郡芝山町）、おぶせ中国美術館（長野県上高井郡小布施町）、軽井沢上野美術館（長野県北佐久郡軽井沢町）、米水津夢美術館（大分県佐伯市米水津）、小さな栗の木美術館（長野県上高井郡小布施町）、青路プチ美術館（千葉県我孫子市）、金子保資料館（東京都板橋区）、茂原牡丹園（千葉県茂原市）、房総浮世絵美術館（千葉県長生郡長柄町）、ギャラリー KANI（東京都中野区）

の皆さんです。

わたくし美術館の活動について

1 会報中心に「わたくし美術館」の活動状況を地道に掲載。**2** HP上にわたくし美術館の作り方を公開、アクセス数が増加、270件/月は他の行事を含め、コラムに続き、多いアクセス数です。**3** 貸出可能作品のデータベースを理事会で承認、HPに掲載（要増加対策）。**4** HP上にわたくし美術館コラム欄を設置取り進め（背景に「あーと・わの会」HP上の“わたくし美術館の作り方”に2018年よりアクセスが増加）。**5** わたくし美術館会議の再開等を推進。必要経費は理事会の了承を経て予算化。〈参考〉わたくし美術館会員増の時期：(1)「わたくし美術館の会」発足時（マスコミ効果）、(2)NPO格取得後（信用アップ）、(3)HPに「わたくし美術館会員の募集」掲載時、(4)わたくし美術館の作り方掲載時（HP効果）、多くはありませんが美術館の作り方で質問が寄せられています。**6** わたくし美術館の命名者、実川暢宏さんの顧問就任で有形（多数の方をご紹介いただきました）、無形の刺激、効果をいただいています。**7** わたくし美術館への理解を求めるに急がず、熟柿作戦で、無理をせず、地道に会内部においてわたくし美術館効果を訴え、わたくし美術館会員のフォローをコツコツ努力してきた結果だと思っています。要検討事項：事務局や幹部が各美術館にお邪魔してお話をお伺いすることが必要であることは十分に理解しておりますが、中々できず、訪問回数は少なく申し訳なく思っています。**8** わたくし美術館会議の再開を検討中で、特に情報提供についてもう少し掘り下げてみたいと考えています。

画廊は5画廊

名古屋画廊（愛知県名古屋市）、ギャラリー枝香庵（東京都中央区）、ギャラリー桜井（東京都東村山市）、池之端画廊（東京都台東区）、シェイクスピア・ギャラリー（東京都千代田区）の5画廊です。



尾崎正教さん 柏わたくし美術館のオープニングパーティー
2000年10月 柏わたくし美術館（千葉県柏市）

会員・わたくし美術館一覧

敬称略・順不同

種別	番号	名称	西暦																			
			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
わたくし美術館	1	公益財団法人 滴水軒記念文化振興財団(千葉県柏市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	2	松山庭園美術館(千葉県匝瑳市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	3	柏わたくし美術館(千葉県柏市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	4	神戸わたくし美術館(兵庫県神戸市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	5	森のテラス(しゃんぐりら)(沖縄県南城市)	-	準備△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	6	アートミュージアム・まど(長野県中野市)																				
わたくし美術館	7	ほくさい美術館(埼玉県加須市)																				
わたくし美術館	8	木更津わたくし美術館(千葉県木更津市)																				
わたくし美術館	9	ふるさと画苑(愛媛県松山市)																				
わたくし美術館	10	大鳳堂わたくし美術館(宮崎県児湯郡川南町)																				
わたくし美術館	11	中上邸インザキホール(福井県勝山市)																				
わたくし美術館	12	公益財団法人 鋸山美術館(千葉県富津市)																				
わたくし美術館	13	裾野アートハウス(静岡県裾野市)																				
わたくし美術館	14	かみの近代美術館(岡山県古田郡鏡野町(奥津温泉))																				
わたくし美術館	15	那須おもいで美術館(栃木県那須郡那須町)																				
わたくし美術館	16	ふくふく美術館(茨城県水戸市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	17	ミニ・プちわたくし美術館(富山県富山市)																				
わたくし美術館	18	鬼石 私の本もの美術館(群馬県高崎市)																				
わたくし美術館	19	KEIS・ART美術館(佐賀県三養基郡みやき町)																				
わたくし美術館	20	悠々美術館(和歌山県紀の川市)																				
わたくし美術館	21	中村順二美術館(千葉県柏市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	22	ミュージアム小ざながケット(千葉県野田市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	23	中和堂中国美術館(千葉県山武郡芝山町)																				
わたくし美術館	24	おぶせ中国美術館(長野県上高井郡小布施町)																				
わたくし美術館	25	軽井沢上野美術館(長野県北佐久郡軽井沢町)																				
わたくし美術館	26	米水津夢美術館(大分県佐伯市米水津)																				
わたくし美術館	27	小ざな栗の木美術館(長野県上高井郡小布施町)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
わたくし美術館	28	青路ブチ美術館(千葉県我孫子市)																				
わたくし美術館	29	金子保資料館(東京都板橋区)																				
わたくし美術館	30	茂原社丹園(千葉県茂原市)																				
わたくし美術館	31	房総浮世絵美術館(千葉県長生郡長柄町)																				
ギャラリー、美術館	32	ギャラリー KANI(東京都中野区)																				
未公開	33	野原コレクション(埼玉県久喜市)																				
未公開	34	アトリエ 一隻眼(千葉県千葉市)																				
ネット上美術館	35	絵のある待合室																				
紙面上美術館	36	平園コレクション 骨董情報誌『小さな蕾』																				
紙面上美術館	37	岩本 昭コレクション わたくし流美術館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
紙面上美術館	38	秋山 功 私の本もの美術館																				
ネット上美術館	39	心の手帖・わたくし美術館																				
協力美術館	-	東御市梅野記念絵画館・ふれあい館(長野県東御市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
常：常設		小計	5	13	14	16	14	12	13	11	13	13	13	15	14	14	15	19	19	18	18	18
休：休館		合(野原 宏、木村悦雄、平園賢一、ネット、本)	5	14	15	17	16	14	15	17	14	19	19	21	20	20	21	24	23	22	22	22

図書の上でわたくし美術館を開館している方も多い(10名)

2021年度の美術普及活動の実績

No.	わたくし美術館	企画展	メモ	項目	氏名	美術普及	メモ
1	神戸わたくし美術館	三浦徹の世界展	5～7月	公立美術館 参画	名古屋画廊		
2		紺綬褒章並びに賞杯拝受記念 陶を愉しむ 条痕釉に魅せられて	8～9月	病院、福祉	裾野アートハウス	小学校で作品展示	1
3		陶を愉しむ 口作りに魅せられて	9～11月	学校で作品展示	絵のある待合室	平園クリニックの待合室、治療室に作品展示	2
4		もう一度観てもらいたい作品展	2～4月		谷医院	谷医院の待合室、治療室に作品展示	3
5	ほくさい美術館	煌めくガラス絵展2021	2～5月	講演会	KEIS・ART美術館	秋吉医院の秋吉恵介	2020年6月
6		猫たちの遊々展2021	6～9月		中柴雅彦	那加屋花冠(山口県防府市)でギャラリートーク	2021年9月
7		コノキ・ミクオ展	10～1月		此木三紅大・紀子	ほくさい美術館で詩の朗読会	2021年11月
8	松山庭園美術館	第18回猫ねこ展覧会2021	4～8月	ネット美術館	シェイクスピア・ギャラリー	企画展開催	2021年10～1月
9		第6回現代アート 実験02展	9月		平園賢一	ネット上わたくし美術館 絵のある待合室	8
10		没後45年 金子周次 木版画展	10～11月	アートプロジェクト	小山美枝	ブログで発信	9
11		コノキ・ミクオのガンダ彫刻展	11～12月	地域	福田豊万	アールブリュット作家支援	スカラベ展
12		第23回 煌めくガラス絵展	12～1月	美術普及	畝一雄	金沢で美術普及活動	
13		青枢会と仲間たち展	1～2月		山瀬一洋	福岡県で美術普及活動	
14		山縣章展	3～4月		高木巧治	岡山県北で「OKUTSU芸術祭」(鏡野町)の実行委員	
15	柏わたくし美術館企画	U氏のコレクション展(ギャラリー アビアント)	8月		辻本高廣	岡山県北で「OKUTSU芸術祭」(鏡野町)の実行委員	
16	池之端画廊	柏わたくし美術館 所蔵作品展	10月		新井 博	川越で美術普及活動 20名のコレクターグループの長	
17	アートミュージアム・まど	牧野悦夫・木村不二雄 異次元のアルチザン展	5～7月		堀 良慶	こぶしの会(相原求一朗顕彰活動)	
18	裾野アートハウス	小さな宇宙展	7～8月		中山真一	愛知県での美術普及活動は群を抜く	
19	(水口コレクションによる)	難波田龍起展(沼津信用金庫)	2月	図書発刊	コノキ・ミクオ	『コノキ・ミクオの詩と造形(ガンダ)』	2021年11月
20	公益財団法人 鋸山美術館	日本の自然 鋸山の文化遺産展(館収蔵作品展)	1～5月	同人誌	増田一郎	『彩雲』15号 5月1日発刊	2022年5月
21	(旧金台美術館)	吉田堅治展	7～11月	雑誌に連載	平園賢一	『小さな蕾』に連載	毎月
22		第7回鋸山美術館コンクール展	1～4月		此木三紅大	『ギャラリー』に連載	100回で終了
23	かがみの近代美術館	2018年4月28日奥津温泉に開館		発掘顕彰	佐々木征	「あーと・わの会」HPにコラム連載	
24		3企画展を開催	2021年度	表彰	中山真一	紺綬褒章(京都国立近代美術館)	2020年
25	木更津わたくし美術館	館名変更			中柴雅彦	山梨県韮崎市より「善行表彰」(國田敦子作品寄贈)	10月
26	大鳳堂わたくし美術館					(韮崎大村美術館に3月寄贈)	
27	福田豊万					小計	25件
28	まぼろしのスカラベ展						
29	アートフル勝山						
30	那須おもいで美術館	プレオープン中	2019年6月～	作家の展覧会	川崎光草子展	中和ギャラリー(東京都中央区)で個展開催	11～12月
31	鬼石 私の本もの美術館	藤森武 写真展「独楽」熊谷守一の世界	10月		永津照見展	歩歩琳堂画廊(兵庫県神戸市)で個展開催	11～12月
32	秋山 功企画	泉澤守展(ギャラリー一枝香庵)	4月			合計	58件
33	ミニ・ブチわたくし美術館	野上邦彦・霧大展(富山県民会館美術館)	2022年8月				
34	KEIS・ART美術館	オープン 自作作品					
		小計	31件				

10-(4) 200文字、画家5,500名の略歴

〈はじめに〉5,500名作家略歴制作のきっかけは、現代美術資料センター主宰の笹木繁男さん（元顧問）との雑談の中で語られた夢の一つでした。笹木さんをご高齢で“寿命を考えると3,000名作家略歴を作る時間はない”とポツリと言われました。ふと！ 3,000名の略歴だったら我々でも、やれそう！ と笹木さんの3,000名作家略歴の夢を私たちの夢にさせていただいたのです。その後、多くの方の参加もあり、アドレナリンも出始め、夢は育ち成長し、現在では5,500名を目指すようになってきています。

目的は、**1**「わの会」コレクション展、「わの会の眼」展などの展覧会、放談会の作家略歴に使用されます。ちょっと極端ですが略歴は百人いれば、百人百様の作家略歴が作られ、混乱が生じるため、統一も必要でした。**2**コレクターによる作家調査の初期段階に使用されます。**3**展示作品のキャプションの作家略歴に利用できます。**4**発掘顕彰作業に役に立ちます。

その後、略歴制作は理事会で承認され、HPに一時期掲載されました。画廊等にそのまま略歴が利用されているのを見ると人の役に立っていると思います。美術普及活動のインフラとの認識です。

引用、出典 略歴制作には公開されている下記の資料等を調査しています。これらの資料を参考にして、選択、簡略化、加工して1作家200文字にまとめています。いわゆる都合の良い所をコピペしてまとめたと言って良いでしょう。

1 日本美術年鑑、東文研アーカイブデータベース（ネット上） **2** 20世紀物故洋画家事典（美術年鑑社） **3** Wikipedia、コトバンク等のネット上検索 **4** 県、市、町、村、区立美術館 **5** 地方自治体（教育委員会等）、私立美術館、個人美術館、画廊のHP、図録及び作家紹介資料 **6** 企画展の図録、画廊の図録、資料 **7** 物故版画家は版画堂（近代日本版画家名覧）、現存版画家は阿部出版のHP。現代美術作家は“ときの忘れもの”のHP **8** 埋もれた作家では松原洋一・UAG 美術家研究所のHP。

ご利用上の注意事項 当レポートをご自身だけに限定使用される場合は問題ありませんが、不特定多数の方に配布される場合、又発信される等の場合、加えて営業目的で多量に使用される場合には「あーと・わの会」にご相談、許可を得て下さい。

制作経緯 2010年に200文字略歴の当テーマを発願し、トライアルでHPに200名ほどの略歴を掲載、問題点を把握しながら5年ほどかけて具体案を検討。

- 1 発願** 2010年現代美術資料センター主宰の笹木繁男さんに3,000名画家略歴作成の夢をいただいた。
- 2 トライアル** 「わの会」コレクション展の略歴を200名ほどHPに掲載、5年ほど準備期間を設けた。
- 3 第1段階** 2018年に1,600名の画家略歴を作成。物故作家中心だが、現存作家も加えた。
- 4 第2段階** 2019年、3,507名の画家略歴を作成、目標達成、理事会の承認の上5,000名作成を優先。
- 5 第3段階** 2021年、5,134名の画家略歴を作成。
- 6 第4段階** 2022年8月、5,500名の画家略歴を作成、2023年会員限定版の書籍発刊を決定。

略歴対象作家の内訳 日本の近現代物故作家のうち油彩、水彩、版画、彫刻の作家を主として対象にしています。他のジャンルとの兼務が多い作家も見え明確な区分けは難しいです。デザイナー、ポスター作家、挿絵作家、絵本作家、写真家も一部含まれています。江戸時代の絵師、美術評論家、美術教育者、コレクター、画廊（画商）、美術普及家も加えています。

- | | |
|---------------------------|---|
| I 全ジャンル（油彩、水彩、版画の作家が主） | 5,500名 （洋画家が版画家でもある場合等、他のジャンルとのダブリあります。油彩、水彩、版画の作家は兼務を含み推定約5,000名） |
| II 日本画家 | 800名 2022年10月時点。以下同じ。 |
| III 江戸期、明治初期に活躍した洋風画を含む絵師 | 240名 |
| IV 彫刻家・立体作家 | 500名 |
| V 美術評論家、美術史家、美術教育者等 | 1,600名 |
| VI 修復家、画廊（画商）、版元、修復家 | 50名 |

目指すところは、コレクター活動、美術普及活動により幅広く、利用度の向上を図ることです。コレクター、美術普及活動のインフラ整備の一環です。尚、現存作家は時の経過とともに物故作家になってゆきます。現存作家で悩ましいのは、時の経過に伴い画歴は変更、追加されるため、更新が必要です。更新努力はしますがどうしてもスローになります。ご容赦下さい。油彩、水彩、版画の作家以外のⅡ～Ⅵの美術関係者を加えているのは、美術普及に関係し、加えて洋画、版画、水彩画、デッサンと兼ね、又関係していることもあります。例えば洋画家であり日本画家、彫刻家でもある場合等です。

当略歴の訂正、更新について、当 HP の読者の方で間違いや更新情報等お気づきの点がありましたら、略歴チームで検討し、定期的に更新させていただきます（チーム：佐々木征、平園賢一、堀 良慶）。下記の間合せ連絡先にご一報下さい。

あーと・わの会事務局 〒277-0871 千葉県柏市若柴 1-358 電話 04-7134-8293 E-mail:ryokeihori@yahoo.co.jp

段々良くなる法華の太鼓 長文の略歴を 200 文字にまとめる作業は簡単ではありません。1,000 名、2,000 名、3,000 名と作家略歴を作ってゆく過程で段々とまとめる能力が向上してきていることを自覚してゆきました。しかも短時間でより正確にまとめることができてきます。難しい専門用語、晦渋^{かいじゅう}文字は平易な文字に置き換えるように努力しました。自然に略歴作成スピードが上がってゆきました。職人技だと野原さんから褒められました。

百人いれば百人百様の作家略歴ができる それは略歴に期待するところが各人で違うからです。このことを認識することがとても重要でした。常に意識して、客観性を持たせるとともに作家の特徴をリアルに捉える意識を持って、まとめてゆきました。自然にノウハウが蓄積して、標準化も身に付いてゆきました。

作家略歴？ 作家略歴の優れた辞書は世に何冊も存在しています。専門家の作成した作家略歴はネットでも検索できます。“東京文化財研究所、美術年鑑社、Wikipedia、コトバンク等専門家に任せておけば良い”素人が作家略歴を作るの？と正直、そう思っていました。「あーと・わの会」コレクション展では、略歴の掲載内容の不足、間違いを指摘されます。ましてや公開されればリスクがあります。素人が作る略歴に評価は低いと思っていました。ですから 5,500 名作家略歴なんて興味、メリットはありません。そのような背景下、誰かのお役に立つのではという使命を感じつつ、実に地道な作業でした。



笹木繁男コレクション展
左から堀 良慶さん、笹木繁男さん、野原 宏さん



笹木繁男さん 東京都美術館の講演会

I 行事活動

行事活動の概況

行事項目	西暦										市民への開放	コロナ影響	
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年			
1 わたくし美術館の企画展、個人、作家企画展	38件	40件	35件	33件	32件	32件	36件	35件	31件	31件	〇～◎	やや停滞	変わらず
2 コレクション活用(美術館での企画展に利用)	29件	49件	50件	77件(寄贈2)	54件(寄贈2)	67件	41件	38件	26件	26件	〇～◎	やや停滞	3～5割減
3 その他の美術普及活動	17件	21件	28件	33件	36件	37件	43件	28件	28件	28件	〇～◎	やや停滞	3～5割減
4 「わの会」コレクション展				第11回	中止	～	～	～	～	～	〇～◎	～	～
5 10周年記念行事 図書発刊						2017年『わの会の眼II』					◎	好評	～
6 10周年記念行事「わの会」展「わの会の眼」展			2015年12月～16年3月	平塚市美術館、東御市海野記念絵画館、ふれあい館							◎	成功	～
7 「わの会の眼」展(名品展)						『わの会の眼』発刊				パレット柏開催	◎	コロナ禍半減	コロナ禍開催
8 20周年記念行事「あーと・わの会」20年のあゆみ										計画・実行	△	～	～
9 放談会開催(回/年)	4回	4回	4回	4回	2回	4回	3回	4回(HP)	1回(HP)	1回(HP)	△	ネット上	ワイガヤ中止
10 会誌(回/年)	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	3回	3回	内部	一部コラムへ	変わらず
11 会報(回/年)	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	内部	要点HP掲載	変わらず
12 会員・会のマスコミ掲載、放映(件/年)	22件	41件	41件	121件	113件	373件	693件	277件	274件	274件	◎	停滞、HPが旗	減だが多い
13 「あーと・わの会」のHPアクセス数(件/日)	110件	250件	390件	444件	650件	940件	1,137件	1,178件	1,111件	1,111件	〇～◎	増	動画掲載
14 市民の受益対象者数	15,000人	19,000人	30,000人	60,000人	50,000人	60,000人	60,000人	30,000人	30,000人	30,000人	〇	コロナ禍停滞	半減
15 わたくし美術館会員数	12館	3	3	13～15館	～	15館	19館	19館	19館	19館	〇	微増 美術鑑賞	安定
16 画廊数	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	◎	増	漸増
17 会員数	68	69	71	70	72	72	69	67	69	69	～	65～75名目標	漸減～安定
18 総会(講演会)	32名	33名(寄3)	33名(寄3)	30名(寄0)	40名(寄0)	43名(寄3)	42名(寄10)	中止	書面開催	書面開催	X～△	～	書面実施
19 理事会(回/年)	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	書面開催	書面開催	書面開催	～	～	書面実施
20 広報・HP	HPリニューアル					1+モニター+事務	1+モニター+事務	1+モニター+事務	1+モニター+事務	1+モニター+事務	〇	HPアクセス多	マスコミ減、HP増
21 会計						1+補助	1+補助	1+補助	1+補助	1+補助	～	健全経営	繰越金増
参考 寄付	40,000円(2件)	30,000円(2件)	140,000円(9件)	60,000円(4件)	70,000円(6件)	50,000円(3件)	160,000円(7件)	130,000円(6件)	423,000円(9件)	423,000円(9件)	寄付の規模はNPO並み	増	増

注意 補助：会計補助です。記帳、振り込み、残金確認等を実施

II 行事・美術普及の開発(美術普及のインフラを含む)

美術普及項目	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	市民への開放	コロナ影響	
22 HP コラム欄	—	—	—	—	募集、計画	3名～	3名	4名	5名(募集)	〇～◎	好評	なし
23 200文字作家略歴	—	—	—	募集、計画	募集、計画	1,600名原案	4,000名原稿	5,000名原稿	5,500名原稿	〇～◎	拡充	なし、5,500名
24 HP 貸出可能作品データベース	当初より計画				募集、計画	1名	1名、募集	1名、募集	1名、募集	△	反応薄	～
25 わたくし美術館コラム、わたくし美術館チーム	—	—	—	—	—	—	理事会了承	準備中	準備中	〇	美術館増、準備中	～

III 2020、2021年度 コロナの影響

行事	総会中止、書面	理事会は書面	レクレーション中止	主要行事は工夫を加えて継続開催努力
美術普及	美術普及活動は概ね3割減 入館者数は概ね3割減～半減	(参考) 美術普及、社会貢献は数値でも把握に努力 名品展コロナ禍開催(入館者数半減)	データ推進	

IV 概況・対策

経営	健全経営続くが資金はやや不足気味、寄付金額リ状態
組織	2010年NPOを選択、市民への行事開放推進 2018年6月NPO返上、7月任意団体選択、組織改革、若返り人事推進
美術普及	わたくし美術館とコレクターの美術普及活動の推進 コレクションの活用
コロナ	コロナ対策 コロナ後準備 デジタルデバインド(情報格差)に配慮 動画導入

11 行事

11-(1) 会報

I 会報の定義 会員の活動を主に、会の重要で基本となる現状・活動記録・運営方針等を会員に報告するため、月1回事務局より会員全員に配布する印刷物です。メール配信も必要に応じ、月2～5回程度実施しています。

II 会報の制作 会報は平等で公平に作る努力をしています。会員全員が対象となり、会員が主役です。会報は「あーと・わの会」の事務局において、毎月1回制作、配布されています。手作り、出前、自腹のいわゆるボランティア精神で制作されています。理事長指示のもと、事務局が制作し、会報、DM、会誌の袋詰め、発送作業は川崎光草子さんが担当されています。19年間かけてコツコツ試行錯誤、質の向上とコストカットが図られています。過去19年間一度も欠番なく発行を続けています。加えて会員からのDM、チラシ、画集、各種資料が同封されています。

III 会報制作基本方針

- 1 会報は月1回、本文5、6頁に加え、メール会報を月2～5回ほど発信。
- 2 掲載される内容は ①総会、理事会等の報告事項（経営方針、運営方針、事業計画、決算報告、人事等）、理事長指示事項 ②会員数、新入会者の紹介、会費の振り込み口座 ③各行事情報、プロジェクト各担当からの連絡事項、行事の予定、依頼事項等 ④会員の美術普及活動の紹介、作家の活動状況 ⑤わたくし美術館情報、美術館情報 ⑥画廊の企画展情報 ⑦「あーと・わの会」にご協力いただいている画廊情報 ⑧一般美術情報（マスコミ情報含む）、事務局連絡事項 で構成されています。
- 3 会報制作における基本姿勢
 - (1) 会員は平等であること 会員の扱い記事も極力同じ程度の文字数、スペースとするよう努力する。
 - (2) 会員が主役であること 特定の会員に偏らないように努力する。
 - (3) ガラス張りの情報提供を心掛ける。
 - (4) 1万円の年会費に見合う情報を送り届けることを当初より心掛けてきています。
 - (5) 会報に同封されるもの 会員の情報に加え、**1**各会議議事録 **2**各種データ **3**毎年行われてきた「わの会」コレクション展画集 **4**『わの会の眼』『わの会の眼II』等の図書 **5**3ヶ月に1回発行の会誌（放談会記録はHPのみ、コピー送付は中断） **6**わたくし美術館、画廊、各普及担当発行のチラシ、DM、企画展案内 **7**会員から無料で配布される画集、カレンダー、研究レポート等にも魅力あります **8**個別会員への事務局からの連絡事項
 - (6) 特定作家、特定組織等をご紹介いただくのは会員各自の自由です。しかし、「あーと・わの会」としては特定作家、特定組織等を紹介する等の特別扱いは避けてきています。
 - (7) 会員レベルでの会員のコレクション等の評論、会員のコレクションの真贋、質についてはトラブル含みなので掲載を控えています。
 - (8) 「あーと・わの会」では会の組織での売買、商取引については避けるようにしています。理事長ご指示事項です。
 - (9) 会報は全ての行事の中でも特に会員全員が対象の事業です。行事には殆ど参加されない方々に対して心掛けてきたことは上記の特に(1)～(5)項です。
 - (10) 会報の評価は常に実施されています。**1**会員からの日々のご意見 **2**理事会、総会による評価 **3**監事による評価 **4**定期的実施されているアンケートによる評価 **5**会員数にも現れてきます。会員数は会の元気度を示すメルクマールです。会員数の安定は勿論、会報効果だけでは無く、会自体の魅力、行事の魅力、楽しい仲間が存在、NPO効果、HP掲載効果によるものでありますが、特に地方の方、殆ど行事に参加されない方の定着率は高く、会報担当としては特に地方の方の活動を注視しています。

- (11) 地方の方は行事への参加のチャンスが交通事情等でどうしても少なくなります。情報提供の焦点を地方の方に合わせ、中央（主に東京）の美術情報も極力紹介に努めています。会報のみで会員に定着いただくのが目標です。
- (12) 会報制作コストは2,571円／人・年（含む総会、理事会、アンケート、マニュアル、レポート、会費請求はがき、コレクション展募集、校正、広報、経営、各種連絡事項催促等）。

11-(2) 会誌

I 会誌の定義 会員が制作し、会員に3ヶ月に一度、定期的に無料で配布される印刷物です。あくまで皆さんの投稿文が主役です。会員の投稿チャンスは平等、公平を基本として制作にあたっています。

投稿の内容は **1** テーマに添ったもの（現在はテーマ品切れ、自由投稿） **2** テーマ以外の自由に投稿いただくもの（以下に例示）①自己紹介 ②私の自慢の1点 ③コレクションのゆくえ ④会員の企画展、美術普及等のトピックス ⑤地方の美術館や企画展等の紹介 ⑥発掘顕彰活動 ⑦美術展、展示会等の紹介、訪問記 ⑧「あーと・わの会」の行事、組織の紹介等 **3** 表紙（作品画像）、目次、編集後記は担当が制作しています。故岩本 昭さんから研究発表の場にしないようにとご指示ありました。

II 会誌の概況 **1** 会誌は3ヶ月毎に四季報として発行されています。手作り、ボランティアで制作、19年間も継続発行されています。**2** 予算制限下（4万5,000円／号、80冊）、担当によって、コツコツ地道な、手作り、自腹、出前精神で行われています。**3** マンネリにならぬような工夫、努力も行われています。**4** 担当が会員皆さんの投稿文をまとめ、製本し手元にお届けしています。これまでに栗俣佳代子さん、川崎光草子さん、太田貞雄さん、小山美枝さんが担当されてきています。

III 会誌の制作内容

- 1 会誌は年4回発行される四季報です。
- 2 投稿方法は会誌の巻末、編集後記に号毎に担当により明示されています。
 - ① 極力写真等画像付きでご投稿下さい。
 - ② A4サイズで1～4枚以内、1人1件、上下、左右25ミリ以上の空間を余白として空けて下さい。ページ挿入、綴じ代のスペースが必要です。
 - ③ カラーコピーご希望の方は有料で表裏のカラーコピーサービスも可能です。
 - ④ 80冊制作します。
 - ⑤ 極力ワープロやワード等でご投稿下さい。無論、手書きでもOKです。
 - ⑥ 原稿送付先（詳細省略）
 - ⑦ メールで投稿（詳細省略）
- 3 会誌は、編集後記で次号の投稿について詳しく案内されます。担当から事務局に連絡され、会報でも募集をしています。加えて担当から直接投稿をお願いする場合があります。
- 4 会誌はあくまで投稿者のオリジナリティーを大切に、投稿者の自己責任で投稿いただいております。会報と同じく、編集時に特に校正体制を敷いておりません。殆ど投稿文全てそのまま掲載されているとご認識下さい。外部に出す場合も手作り感を前面に出して、簡単な案内文を付け、ご案内しています。
- 5 担当の作業内容 企画、編集、制作作業の殆どが一人の担当によって取り進められています。

（企画・募集） **1** テーマ投稿、自由投稿そして、会誌投稿の募集は担当から各号の編集後記に掲載、会報にも掲載されます。又個別に投稿依頼もあります。特に新入会者、特別な企画実施、図書発刊、受賞時等のトピックスのある場合には担当から直接投稿をお願いしています。**2** 会誌の投稿数の把握。この把握が作業ベースとなってゆきますが、中々事前に投稿数等、内容等見極めにくいのです。経験によって見込まれています。**3** 募集を締め切り、投稿された現行の投稿数、ページ数が把握されます。

（編集） **4** 手書き投稿文の場合には入力作業が必要となります（ご協力で入力作業は減少）。**5** 台割（印刷する前に行う、事前頁の割り振り、頁の設定）と目次作成が必要です。**6** 白紙対策（文字、画像の

無い頁、白紙を無くす)。偶数頁の投稿の方が編集はしやすいですが、強制はできません。1、3頁のレポートも準備します。**7** カラーコピー対応。特に投稿者をご自分でカラーコピー必要部数を作成し、投稿する場合です。これが台割（ページ）に影響します。投稿遅れ、変更する場合には注意が必要です。編集作業に影響を与えます。**8** 表紙のデザインはほぼ定型化されています。表紙に採用する作品の画像は極力掲載許可を得るようにしています。テーマに沿った画像の選抜とともにできる限り多くの方の所蔵作品の掲載努力が図られています。**9** 編集後記の作成。投稿要領、投稿先、期限、後付けが記載されています。

(制作作業内容) **10** 制作部数決定（直近では80冊）。**11** 台割表、目次に照らし合わせ、コピー（印刷）すべき原稿を台割通り揃える。**12** コピー業者に発注。**13** ファイルカバー、ホッチキス等準備。**14** コピー業者からコピーを受け取り、ページ順のチェック。**15** 個人作成のカラーコピーの差し込み。**16** ホッチキス留め（この作業にはページ数に限度が生じます。極力45ページ以内に収めています）、ファイルカバーに挿入、製本。基本的には一般図書制作、出版社と同じ仕事が行われているとご認識いただくと良いと思います。

(発送) **17** でき上がった会誌は決められた期日までに、会報、会誌発送作業をお願いしている川崎光草子さんに発送されます。担当により会誌の企画・募集・編集・制作・発送作業が行われています。

6 投稿者の固定化、漸減は発足当初よりの課題です。趣味の会です。投稿依頼は強制できません。お願いする程度が限度です。過去実に多くの方にご投稿いただきました。ありがとうございます。当初テーマを設定してきましたが、2018年9月、63号会誌からテーマ設定が限界を迎え、自由投稿に切り替えています。又、あまりアカデミックに偏ると、投稿者の固定化が進み、固くなり、長続きしません。あくまで自由投稿で適度のバランスが不可欠です。

7 会誌予算 現在、担当は80冊、4万5,000円/回の予算で会誌を制作しています。この予算内で作業するには、手作り、出前、自腹のボランティア活動が不可欠です。加えてノウハウの蓄積がなければ実現できません。40ページの原稿を一度、集めてみるとその大変さがわかるでしょう。現担当は本業を持ち現役です。ウイークデーは忙しく、週末まとめて作業が実行されています。

8 会誌の担当

(1) 1～10号は摘水軒記念文化振興財団の栗俣佳代子さんが立ちあげてくれました。デザイン、ロゴ（ロゴ制作費は野原理事長に寄付としてご負担いただきました）、カバー等製本、会誌の基礎を作ってください、費用は全て財団基金から出していただきました。助かりました。発足当時の予算（財源）の厳しさがわかります。参考：摘水軒記念文化振興財団にご支援いただいた制作経費は推定3万円/回×10回=30万円です。感謝申し上げます。

(2) 11～36号は川崎光草子さんに史学会でのご経験、学芸員の資格を活かし、会誌の基礎である配置割付、テーマの設定、3万～4万円/80冊の予算のもと、コピーの外注先選択（I画廊アドバイス）、頁の台割と台割表の考案、白紙対策、特に予算以内で投稿増対策に力を入れていただきました。(1)、(2)項は試行錯誤の時代です。

(3) 太田貞雄さんには37号から52号まで自由な発想での会誌作りをお願いしました。現在まで会誌には実にきめ細かいノウハウの蓄積があります。川崎さんから太田さんへの引き継ぎの時は募集期間2年を要しています。

(4) 太田さんからご事情により担当退任希望があり、後任に2年間の募集時間を要しています。小山美枝さんが手を挙げてくれました。53号（2016年6月）より小山さんが引き継がれています。小山さんは過去に編集のご経験があり、学芸員資格を持ち、お仕事もお持ちの現役です。53号～76号（2022年6月）に至っています。

(5) 会誌制作当初は3年継続できれば良いとの意見もあり、できる限り継続しようご担当の方々が努力され、過去4人の会誌担当のご努力により継続、皆様のご投稿のお陰です。「あーと・わの会」の主要行事にいただきました。あらためてお礼申し上げます。ありがとうございます。



会誌

敬称略・順不同

誌発行状況 その1

号	会誌テーマ	内訳(件数)										頁数	年・月	編集・制作		備考			
		投稿 件数	特集	自由投稿	特別	美術館	企画展	コラム	行事	編集	新会員			制作	編集委員会				
75	自由投稿	14	-	10	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	43	2022年3月	小山美枝	-	自由投稿等
74	自由投稿	17	-	11	1	0	0	2	1	1	0	1	1	1	53	2021年10月	小山美枝	-	自由投稿
73	自由投稿	16	-	8	1	0	0	1	1	1	0	1	1	3	44	2021年6月	小山美枝	-	自由投稿
72	自由投稿	14	-	9	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	41	2021年3月	小山美枝	-	自由投稿
71	自由投稿	16	-	11	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	48	2020年12月	小山美枝	-	自由投稿
70	自由投稿	15	-	9	1	0	0	2	1	1	0	1	1	1	51	2020年9月	小山美枝	-	自由投稿
69	自由投稿	17	-	10	2	<4>	0	2	1	1	1	1	1	1	53	2020年6月	小山美枝	-	自由投稿
68	自由投稿	15	-	9	1	1	0	2	1	1	0	1	1	0	50	2020年3月	小山美枝	-	自由投稿
67	自由投稿	15	-	7	1	3	0	2	1	1	0	1	1	0	43	2019年12月	小山美枝	-	自由投稿
66	自由投稿	15	-	7	1	2	1	2	1	1	0	1	1	0	51	2019年9月	小山美枝	-	自由投稿
65	自由投稿	14	-	8	1	1	0	2	1	1	0	1	1	0	44	2019年6月	小山美枝	-	自由投稿
64	自由投稿	17	-	10	1	2	0	2	1	1	0	1	1	0	54	2019年3月	小山美枝	-	自由投稿
63	自由投稿	18	-	10	3	1	0	1	1	1	0	1	1	1	61	2018年12月	小山美枝	-	自由投稿
62	芸術と旅	17	6	6	2	0	0	1	1	1	0	1	1	0	47	2018年9月	小山美枝	-	行事連載
61	わの会の眼II 選ぶ・書く・読む	19	5	6	3	1	0	2	0	1	0	1	1	1	50	2018年6月	小山美枝	-	コラム連携
60	自由投稿	17	0	11	3	0	0	0	0	1	0	1	1	2	45	2018年3月	小山美枝	-	自由投稿
59	コレクションの行方・絵の行方	18	5	8	4	0	0	0	0	1	0	1	1	0	56	2017年12月	小山美枝	-	自由投稿
58	私の好きな作家	15	4	7	3	0	0	0	0	1	0	1	1	0	38	2017年9月	小山美枝	-	理事会 会誌 対策
57	将来入手したい絵	16	6	6	2	0	1	0	0	1	0	1	1	0	39	2017年6月	小山美枝	-	自由投稿
56	絵画収集で学んだこと	13	4	6	1	<1>	1	0	0	1	0	1	1	1	34	2017年3月	小山美枝	-	理事会 コンブレイン
55	絵画収集の失敗談	15	4	6	2	0	0	0	0	1	0	1	1	2	37	2016年12月	小山美枝	-	自由投稿
54	最初に買った絵	17	4	7	4	1	<1>	0	0	1	0	1	1	0	40	2016年9月	小山美枝	-	自由投稿
53	フォーヴ	15	6	4	3	1	0	0	0	1	0	1	1	0	43	2016年6月	小山美枝	-	自由投稿
52	絵と癒し	13	5	5	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	33	2016年3月	太田貞雄	-	自由投稿
51	風俗画															2015年12月	太田貞雄	-	自由投稿
50	マチエール	14	3	7	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	36	2015年9月	太田貞雄	-	自由投稿
49	都市風景	15	5	4	1	2	0	0	0	1	0	1	1	2	36	2015年6月	太田貞雄	-	アンケート
48	学芸員	13	3	6	1	2	0	0	0	1	0	1	1	0	32	2015年3月	太田貞雄	-	美術館訪問
47	日本画と洋画	10	3	5	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	25	2014年12月	太田貞雄	-	自由投稿
46	オークション	13	3	6	2	0	0	0	0	1	0	1	1	1	41	2014年9月	太田貞雄	-	自由投稿
45	絵の鑑賞	14	6	5	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	43	2014年6月	太田貞雄	-	自由投稿
44	美術館	12	5	4	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	35	2014年3月	太田貞雄	-	自由投稿
43	自画像	16	8	3	2	0	0	0	0	1	0	1	1	2	41	2013年12月	太田貞雄	-	自由投稿
42	音楽と絵画・岩本昭さん	20	4+9	3	0	0	2	0	0	1	0	1	1	1	44	2013年9月	太田貞雄	-	自由投稿
41	前衛	15	6	4	1	0	0	0	0	1	0	1	1	3	35	2013年6月	太田貞雄	-	自由投稿
40	彫刻	16	7	5	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	35	2013年3月	太田貞雄	-	自由投稿

(要調査)

会誌発行状況 その2

敬称略・順不同

号	会誌テーマ	投稿				内訳(件数)				頁数	年・月	編集・制作		備考		
		件数	特集	自由投稿	特別	美術館	企画展	コラム	行事			編集	新会員		制作	編集・制作 編集監 監字のみ(訂誤)
39	絵画と修復	17	6	8	0	0	2	0	0	1	0	41	2012年12月	太田貞雄	—	
38	画家の生前の評価・没後の評価	15	5	5	0	0	0	0	0	1	4	33	2012年9月	太田貞雄	—	
37	シュルレアリスム	11	4	5	0	0	0	0	0	1	1	28	2012年6月	太田貞雄	—	
36	アールブリュット	13	6	6	0	0	0	0	0	1	0	34	2012年3月	川崎光草子	堀、川崎	編集会議中止
35	秘蔵の一点	11	3	7	0	0	0	0	0	1	0	29	2011年12月	川崎光草子	堀、川崎	
34	アートの力	10	3	5	1	0	0	0	0	1	0	29	2011年9月	川崎光草子	堀、川崎	
33	地方画家	11	4	5	0	0	0	0	0	1	1	36	2011年6月	川崎光草子	堀、川崎	
32	流行と不景	12	3	7	0	0	0	0	0	1	1	28	2011年3月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
31	現代アート	15	3	8	1	0	2	0	0	1	0	31	2010年12月	川崎光草子	福井、堀、川崎	コレクション/展募集
30	学校教育と芸術	15		8						1		37	2010年9月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
29	無名作家	15		7						1		35	2010年6月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
28	私設美術館	14		9						1		32	2010年3月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
27	天折作家	14		10						1		37	2009年12月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
26	絵画と額縁	13		7						1		34	2009年9月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
25	埋もれた画家	12		7						1		34	2009年6月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
24	画廊・画廊	14		10						1		35	2009年3月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
23	女流作家	16		9						1		41	2008年12月	川崎光草子	福井、堀、川崎	
22	肖像画	20		13						1		42	2008年9月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
21	風景画	19		11						1		36	2008年6月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
20	プロとアマ	17		10						1		38	2008年3月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
19	細密画	17		10						1		36	2007年12月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
18	最近出会った絵・展覧会	18		14						1		37	2007年9月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
17	心象画	23		16						1		41	2007年6月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
16	裸婦と女性像	17		12						1		33	2007年3月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
15	抽象画	14		11						1		28	2006年12月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	
14	静物画	19		12						1		39	2006年9月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	予算内でのノウハウ
13	風景画 版画	17		7						1		31	2006年6月	川崎光草子	大竹、福井、堀、川崎	試行錯誤時期
12	人物画・デッサン	11		7						1		39	2006年3月	川崎光草子	大竹、福井、堀、栗原	
11	水彩画・パステル画、鞆回コレクションについて	19		13						1		37	2005年12月	川崎光草子	大竹、古川、堀、栗原	
10	人との出会い・絵との出会い	19		9						1		19	2005年9月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	掬水軒が経費負担
9	私の好きな作品・美術館の課題	27		19						1		27	2005年6月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
8	私の一番好きな作家・私の失敗	19		11						1		34	2005年3月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
7	絵の魅力・絵の力・私の滞欧作品	21		13						1		38	2004年12月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
6	私の自慢の一点・私の滞欧作品	19		13						1		32	2004年9月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
5	コレクションの行方・絵の行方	16		5						1		32	2004年6月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
4	わたしのコレクション・わたしの絵	21		11						1		46	2004年3月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
3	コレクターについて	17		6						1		32	2003年12月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
2	はじめてのコレクション	20		7						1		26	2003年9月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々
1	コクダが癒あむむ美濃の絵に寄せて	19		0						1		22	2003年5月	掬水軒(栗原)	大竹、古川、堀	々 会誌の基礎確立

注意：会誌1～10は「公益財団法人 掬水軒記念文化振興財団」の栗原佳代子さんが制作